

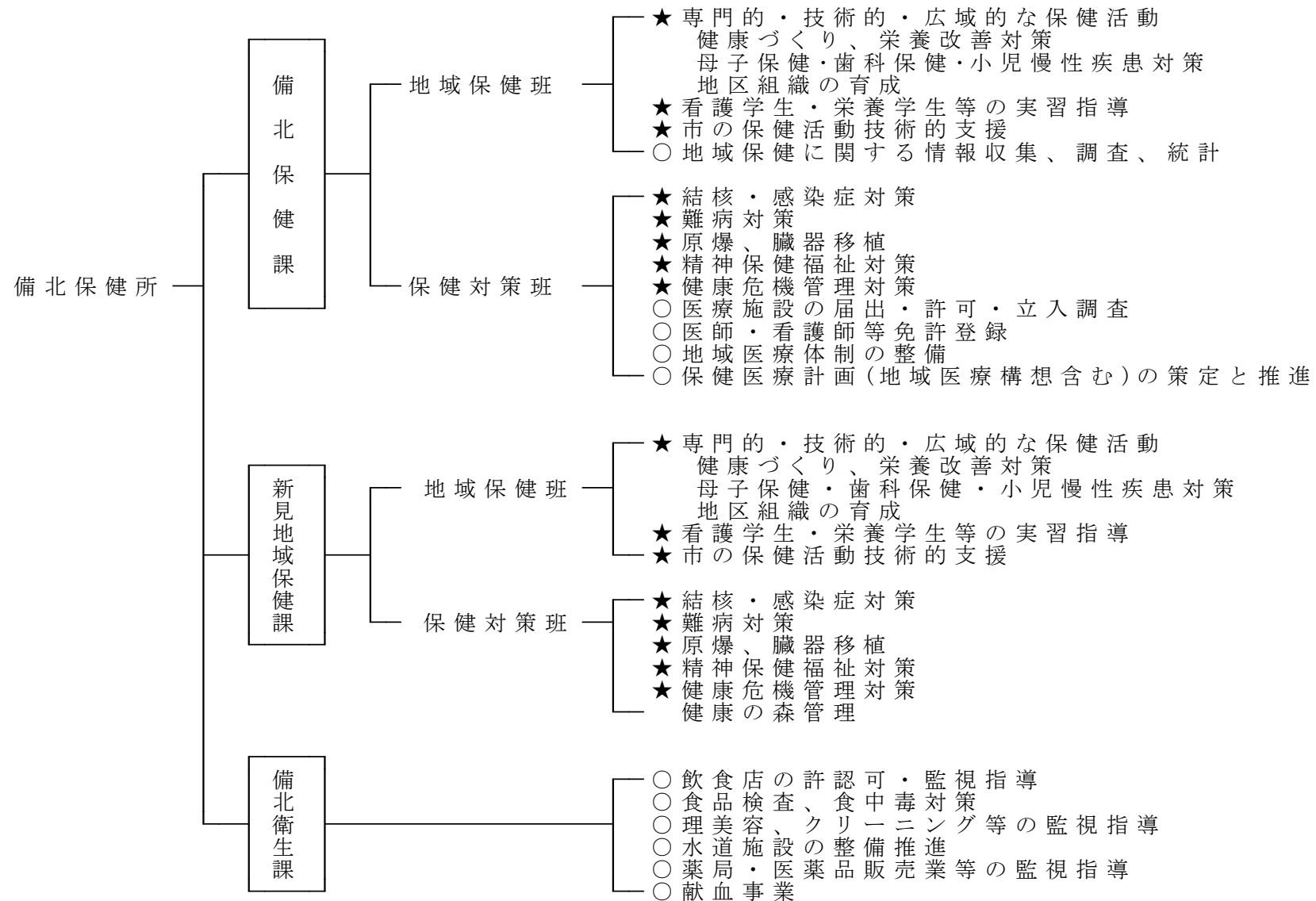
令和6年度 備北保健所運営協議会資料

令和6年10月21日（月）
岡山県備北保健所

目 次

○備北保健所の組織	3
○管内概況	4
人口及び人口動態	5
医療機関及び保健関係施設等	25
保健医療従事者	35
○重点施策	37
1 地域における医療提供体制の整備 (地域包括ケアシステムの深化・推進)	39
2 心と体の健康づくりの推進 (障害のある人に対する支援)	48
3 子ども・子育て支援の充実強化 (切れ目のない母子保健の推進)	60
4 生活衛生及び医薬安全対策の推進等	66

備北保健所の組織



注 1 ★印は、備北・地域保健課が各々の管轄の事業を実施している。
○印は、備北保健課・衛生課が備北管内の事業を実施している。

管内の概況

備北保健所管内は、岡山県北西部に位置する高梁市と新見市を管轄する。

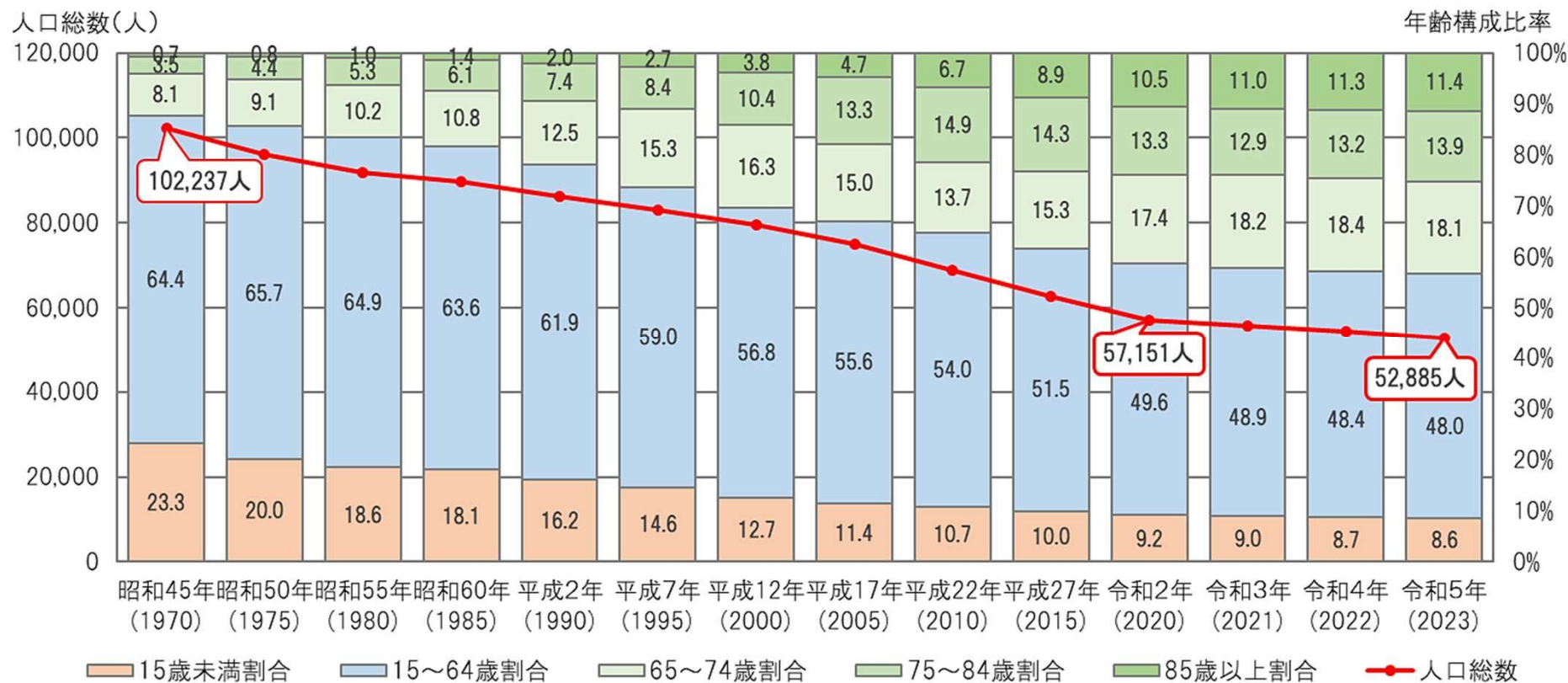
管内の総面積は1,340.28km²（県面積の18.8%）で、総面積の中でも林野の占める割合が83.4%と非常に高くなっている。

一帯は中国山地と吉備高原に囲まれる自然豊かな地域で、県内三大河川の一つである高梁川が、北部山間を源に管内中央部を南下している。

農業が主な産業で、人口減少による過疎化が徐々に進んでいる。



(1)管内の人口推移及び年齢構成割合 (年齢5区分)



資料：総務省統計局「国勢調査」、岡山県統計分析課「岡山県毎月流動人口調査」

(注) 人口総数は、年齢不詳を含んでいるため年齢別人口の計とは合致しない。

(注) 年齢構成比率は、分母から年齢不詳を除いて算出している。

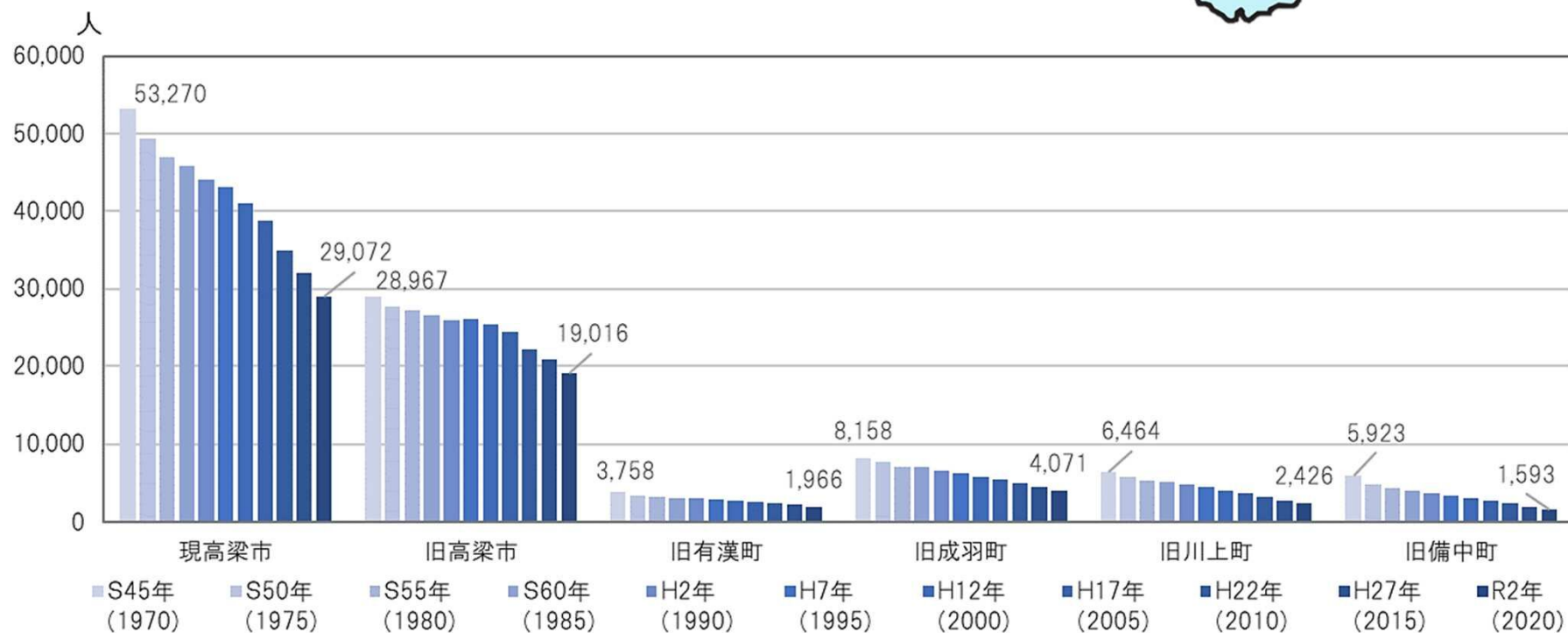
【参考】

		15歳未満割合	15～64歳割合	65～74歳割合	75～84歳割合	85歳以上割合	(再掲) 65歳以上割合
昭和45年(1970)	管内	23.3	64.4	8.1	3.5	0.7	12.3
	全国	24.0	68.9	4.9	1.9	0.3	7.1
	岡山県	22.6	67.7	6.6	2.6	0.5	9.7

		15歳未満割合	15～64歳割合	65～74歳割合	75～84歳割合	85歳以上割合	(再掲) 65歳以上割合
令和2年(2020)	管内	9.2	49.6	17.4	13.3	10.5	41.2
	全国	11.9	59.5	13.8	9.9	4.9	28.6
	岡山県	12.4	57.3	14.2	10.4	5.7	30.3

(2) 総人口推移・旧市町集計

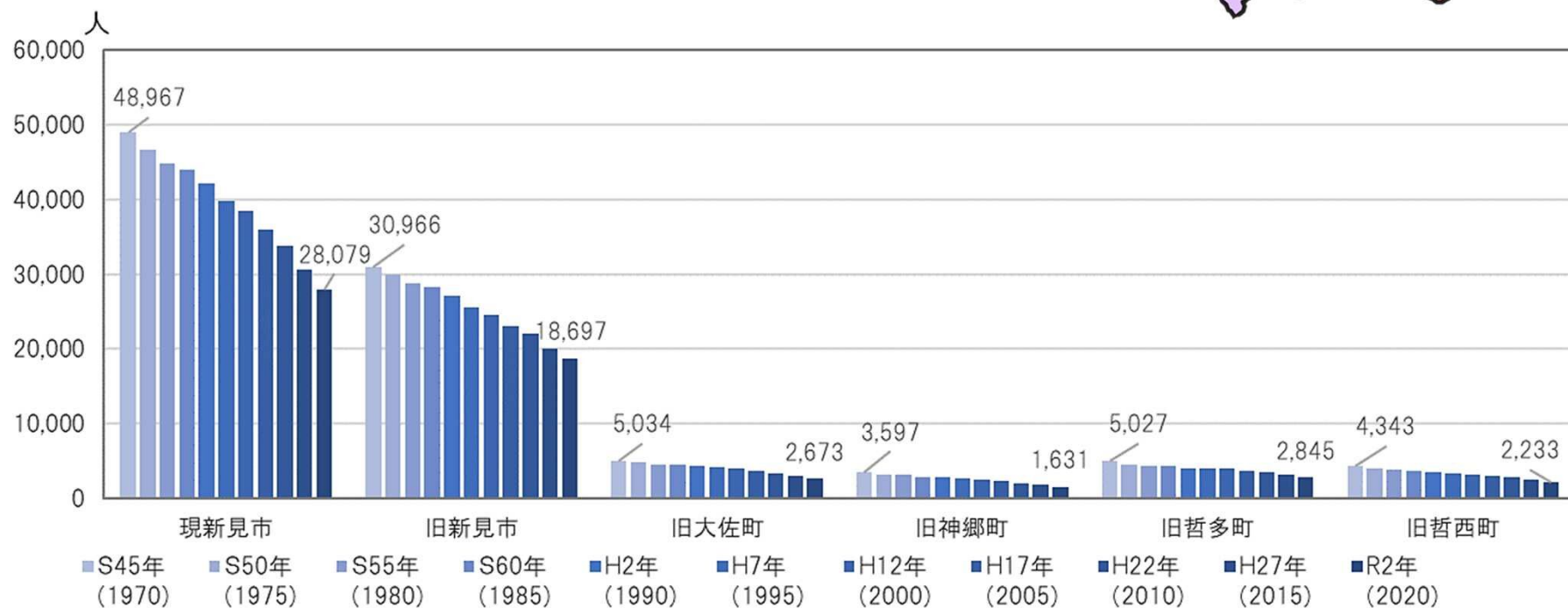
① 高梁市



資料：総務省統計局「国勢調査」 小地域集計

(2) 総人口推移・旧市町集計

②新見市

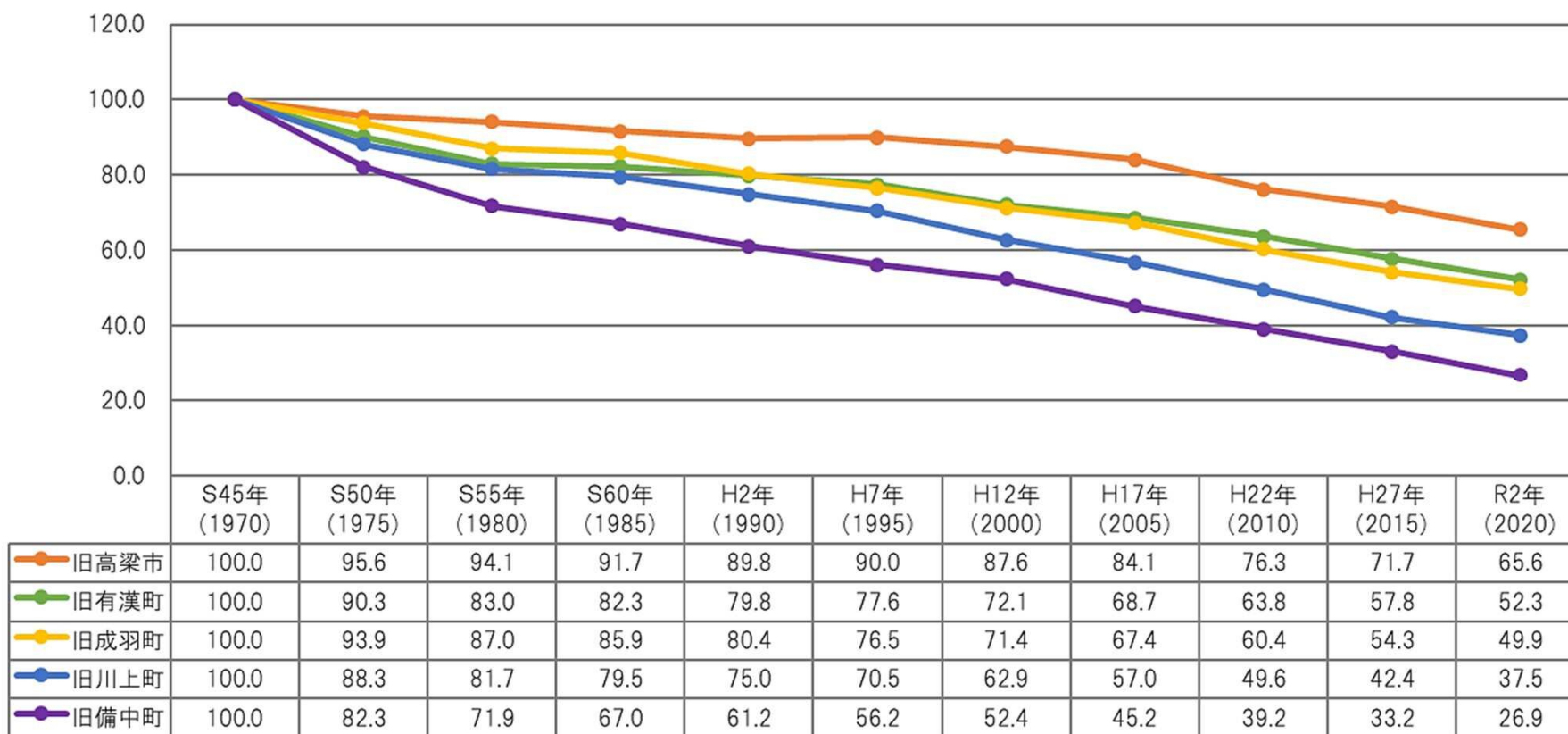


資料：総務省統計局「国勢調査」 小地域集計

(3) 総人口推移・旧市町集計

昭和45(1970)年を100とした場合の指数

① 高梁市

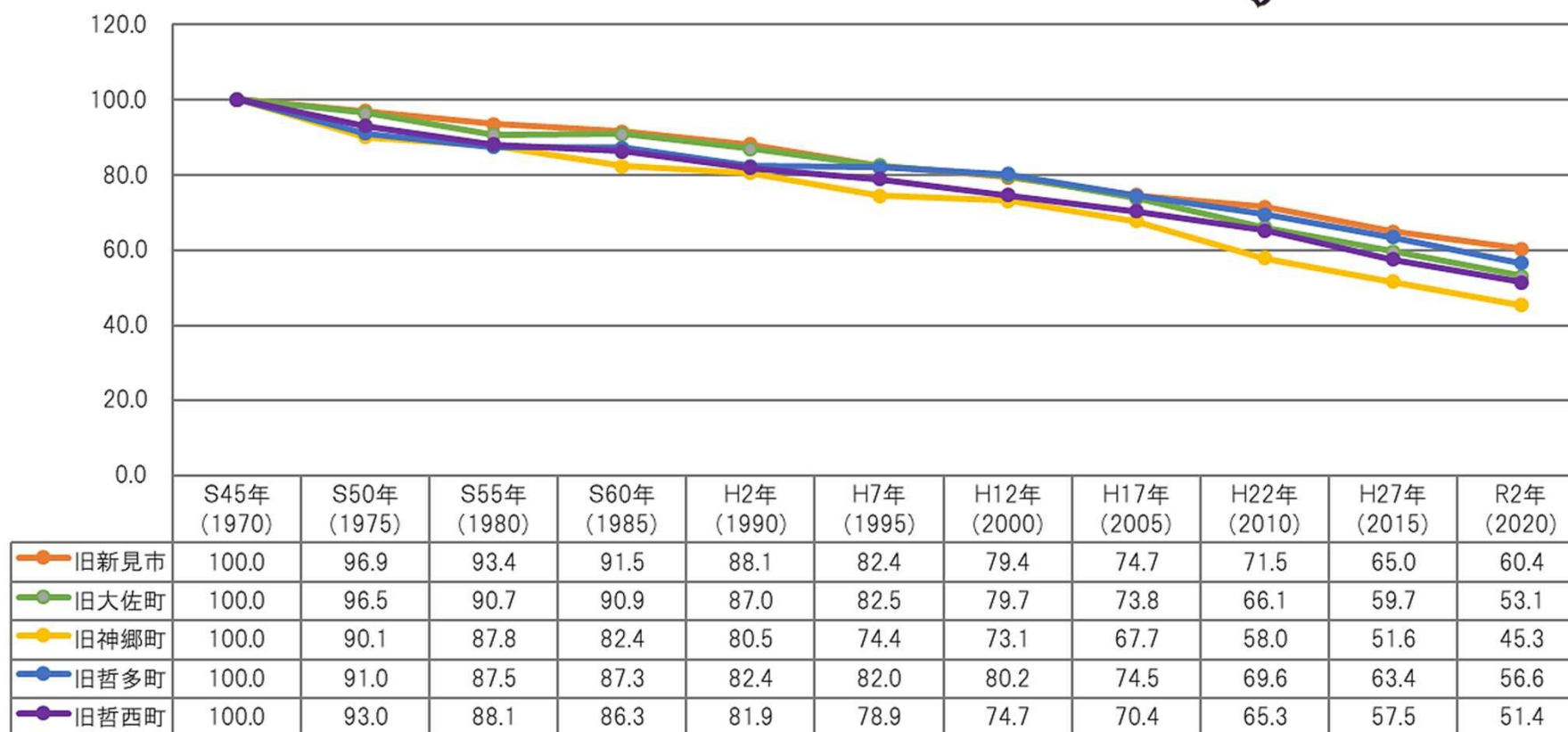


資料：総務省統計局「国勢調査」 小地域集計

(3) 総人口推移・旧市町集計

昭和45(1970)年を100とした場合の指数

②新見市



資料：総務省統計局「国勢調査」 小地域集計

(4) 管内75歳以上人口の割合

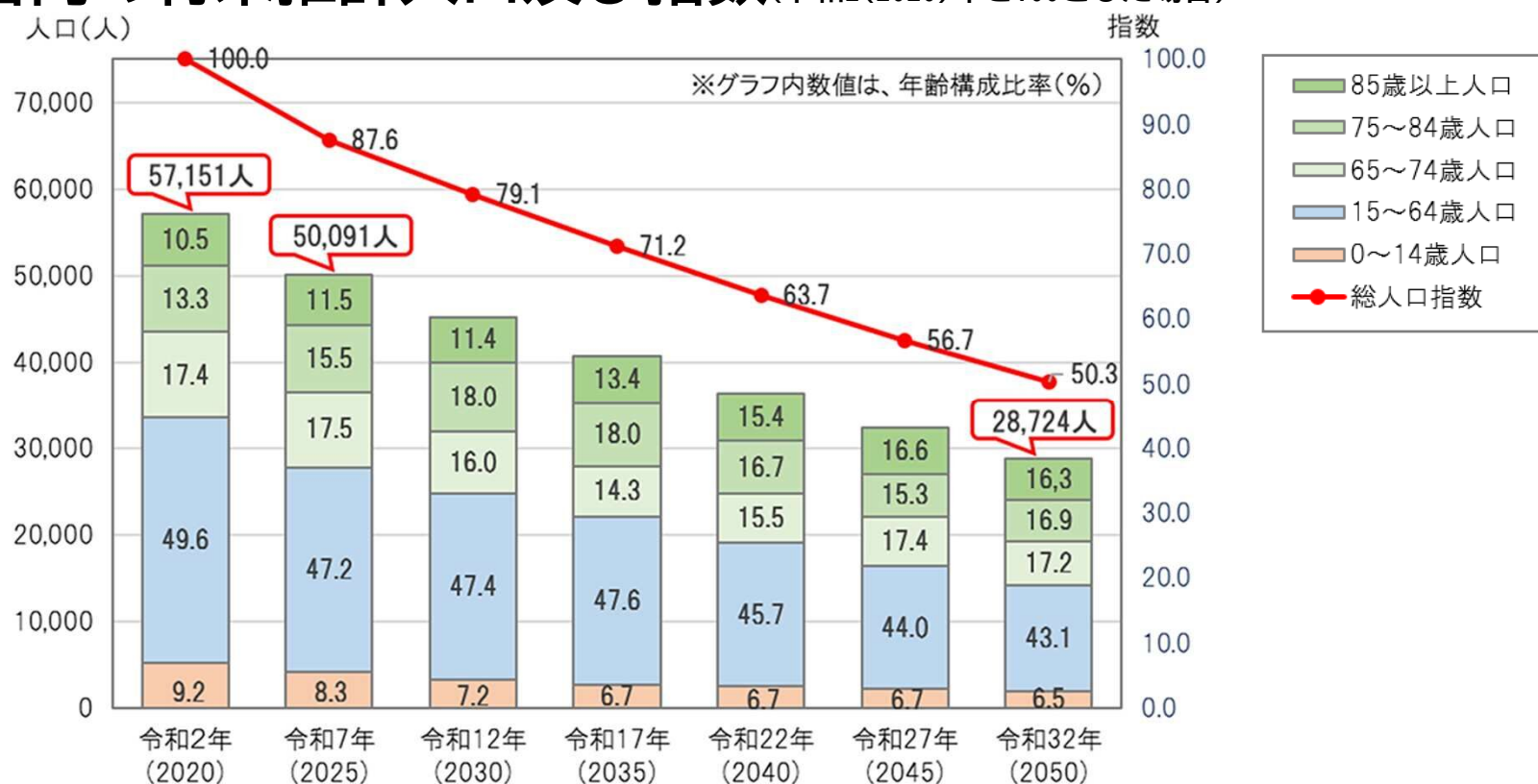
2020年国勢調査

・小地域 (町丁・字等)



資料：総務省統計局「令和2(2020)年 国勢調査」
J STAT MAP地図で見る統計

(5)管内の将来推計人口及び指数(令和2(2020)年を100とした場合)



資料：総務省統計局「国勢調査」

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別推計人口」(令和5(2023)年3月推計)

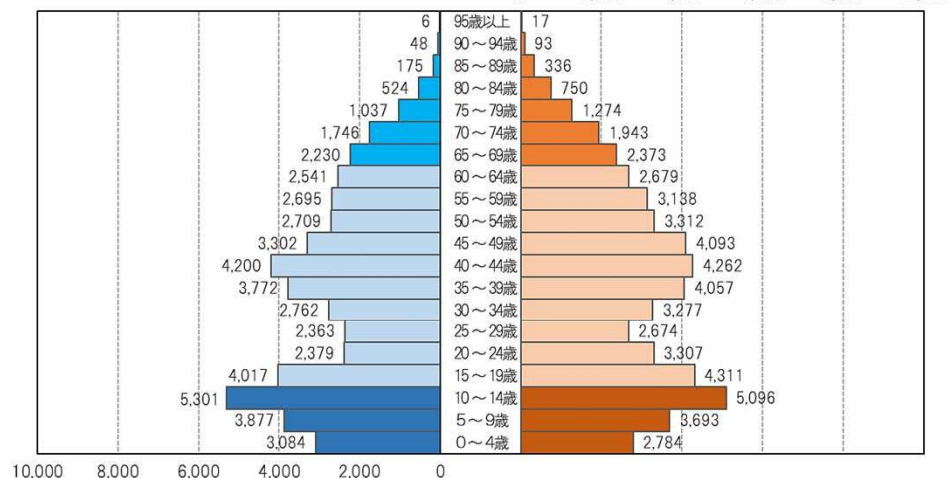
(注) 令和2(2020)年の人口は、国勢調査の年齢、国籍、配偶者関係の不詳を補完した参考表の数値を用いているため、国勢調査の年齢構成比率とは一致しない。

【参考】

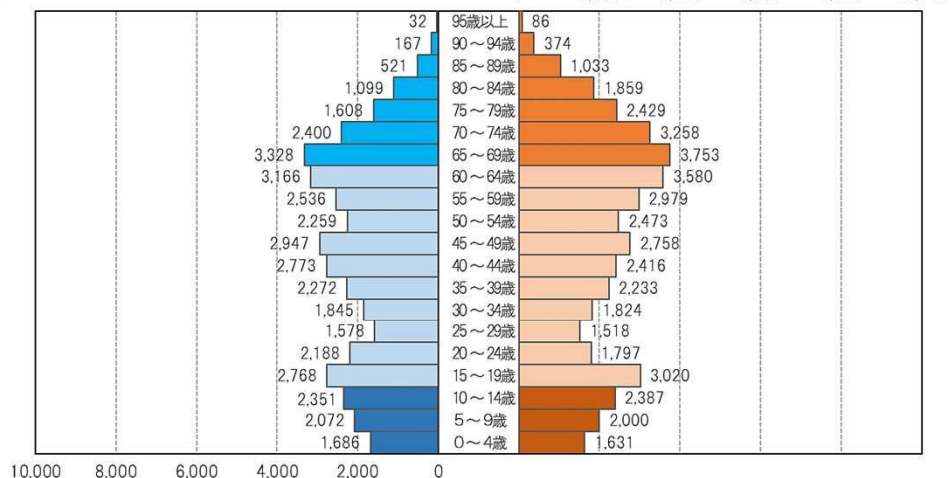
		15歳未満割合	15～64歳割合	65～74歳割合	75～84歳割合	85歳以上割合	(再掲)65歳以上割合			15歳未満割合	15～64歳割合	65～74歳割合	75～84歳割合	85歳以上割合	(再掲)65歳以上割合	総人口指数(R2=100)
令和2年(2020)	管内	9.2	49.6	17.4	13.3	10.5	41.2	令和32年(2050)	管内	6.5	43.1	17.2	16.9	16.3	50.4	50.3
	全国	11.9	59.5	13.8	9.9	4.9	28.6		全国	9.9	52.9	13.9	14.1	9.2	37.2	83.0
	岡山県	12.4	57.3	14.2	10.4	5.7	30.3		岡山県	10.4	51.8	14.0	14.2	9.6	37.8	80.0

(6)管内の人口ピラミッド

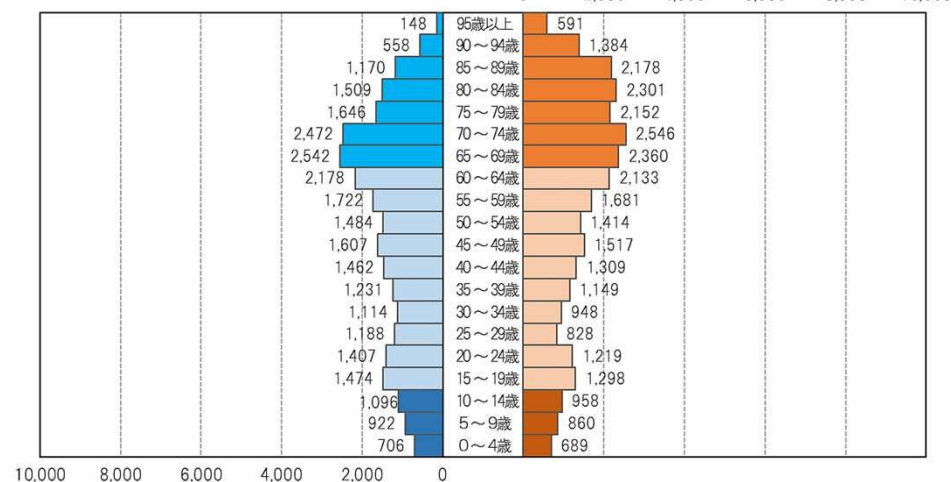
昭和45(1970)年 男性 女性 単位:人



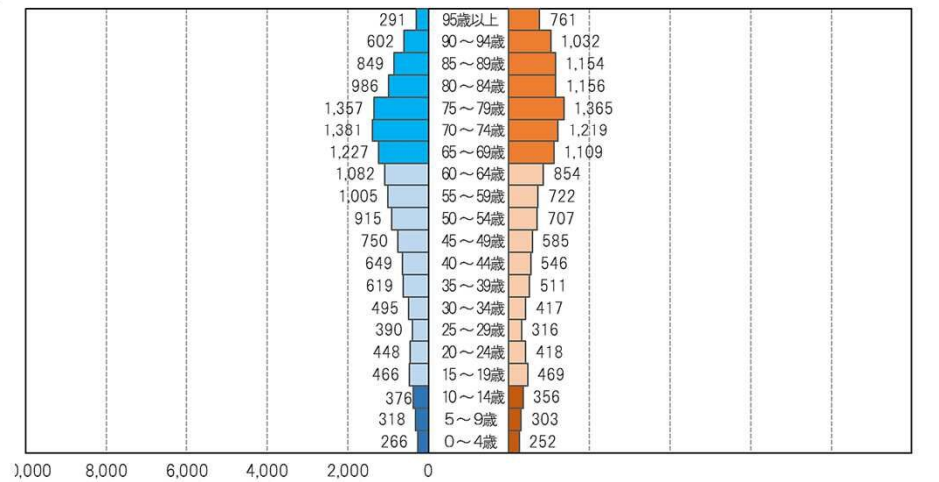
平成7(1995)年 男性 女性 単位:人



令和2(2020)年 男性 女性 単位:人



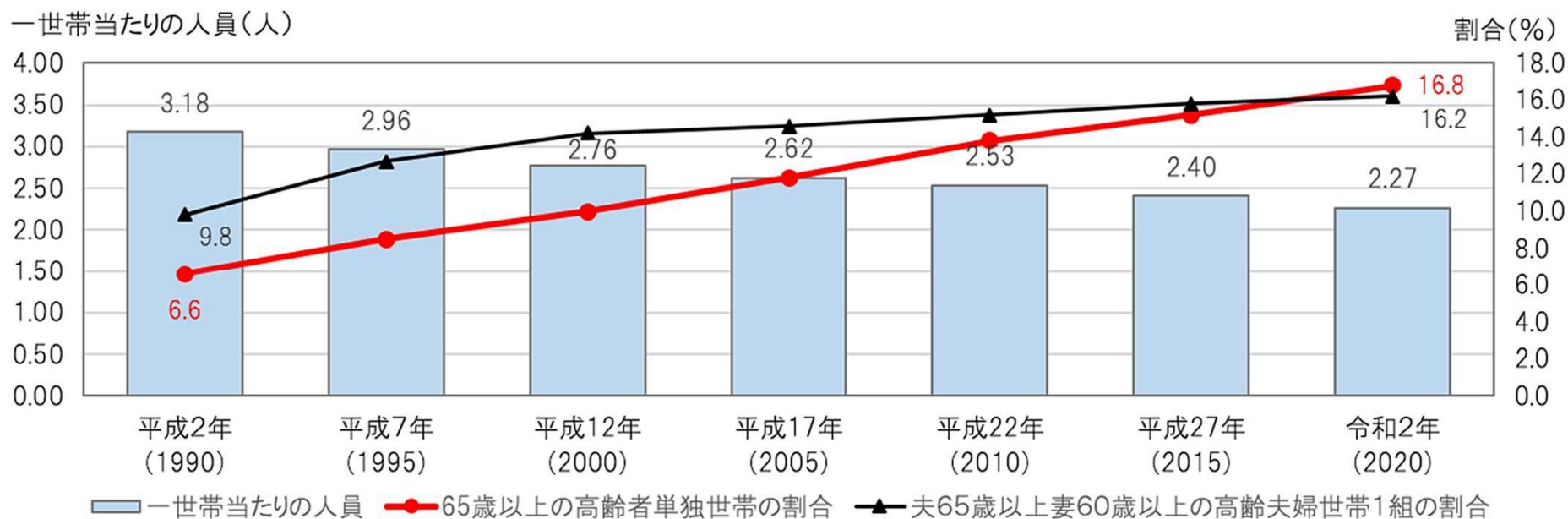
令和32(2050)年 男性 女性 単位:人



(資料:総務省統計局「国勢調査(各年)」

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」令和5(2023)年12月公表))

(7)管内一般世帯の一世帯当たり人員、高齢者単独世帯及び 高齢夫婦世帯の一般世帯に占める割合



(資料：総務省統計局「国勢調査」)

【参考】

		総数 (不詳を含む)	一般世帯	単独世帯		夫婦のみ の世帯				施設等の 世帯
						65歳以上単独世帯		夫65歳以上妻60歳以上の 高齢夫婦世帯		
				世帯数	一般世帯に 占める割合	世帯数	一般世帯に 占める割合			
平成 2年 (1990)	管 内	26,614	26,512	4,999	1,757	6.6	5,918	2,597	9.8	102
	全 国	41,035,777	40,670,475	9,389,660	1,623,433	4.0	6,293,858	1,967,499	4.8	104,246
	岡 山 県	609,712	607,668	120,147	30,186	5.0	107,855	38,942	6.4	1,437
令和2年 (2020)	管 内	24,210	24,125	9,067	4,053	16.8	5,234	3,916	16.2	85
	全 国	55,830,154	55,704,949	21,151,042	6,716,806	12.1	11,158,840	6,533,895	11.7	125,205
	岡 山 県	801,409	799,611	284,926	94,208	11.8	162,552	103,306	12.9	1,798

(8) 管内の密度(世帯数)

2020年国勢調査

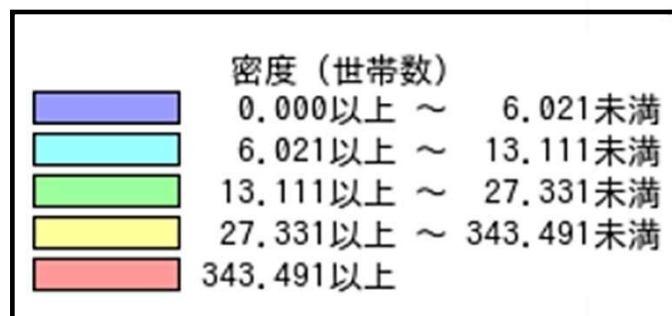
・小地域 (町丁・字等)

拡大図



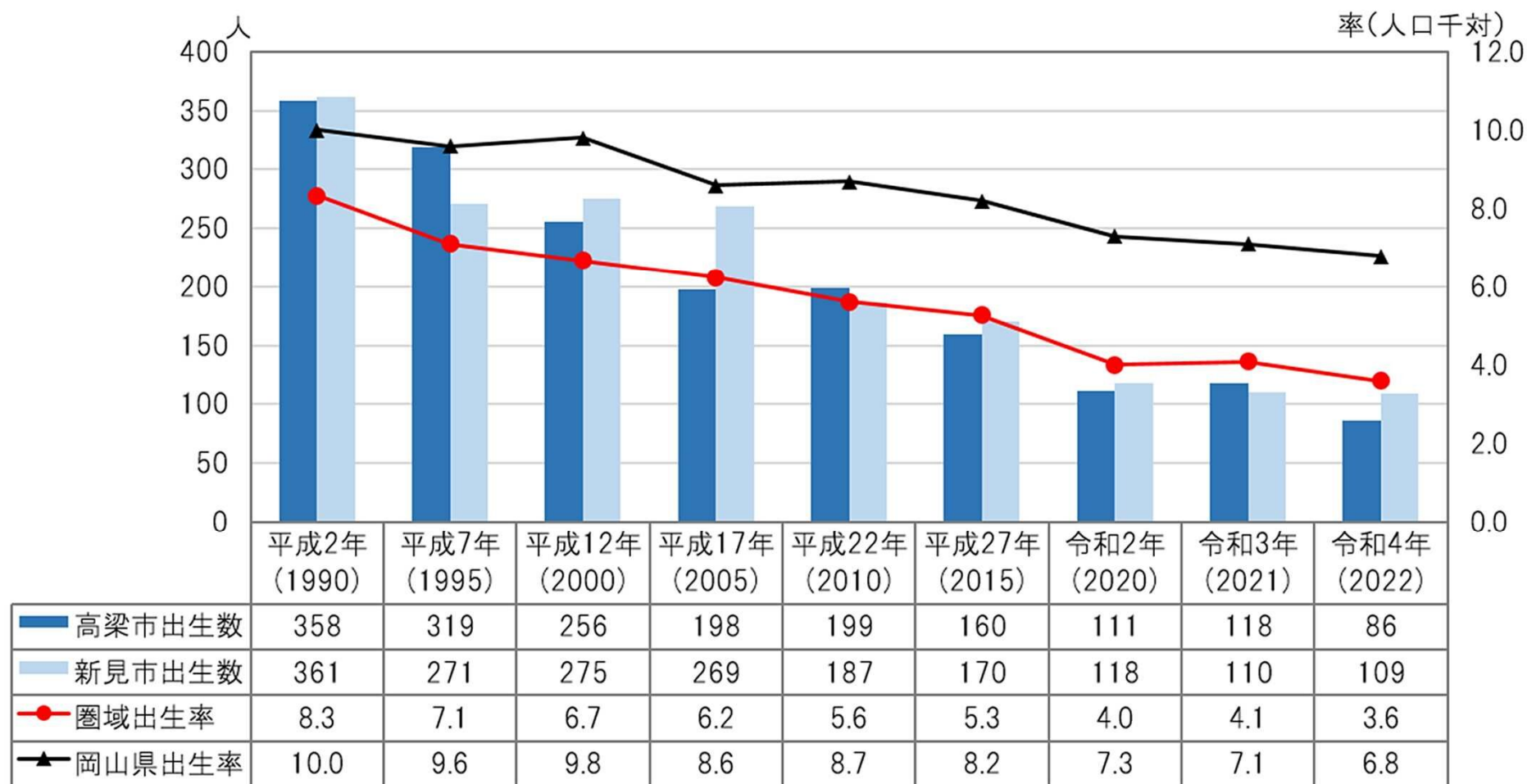
新見市

高梁市



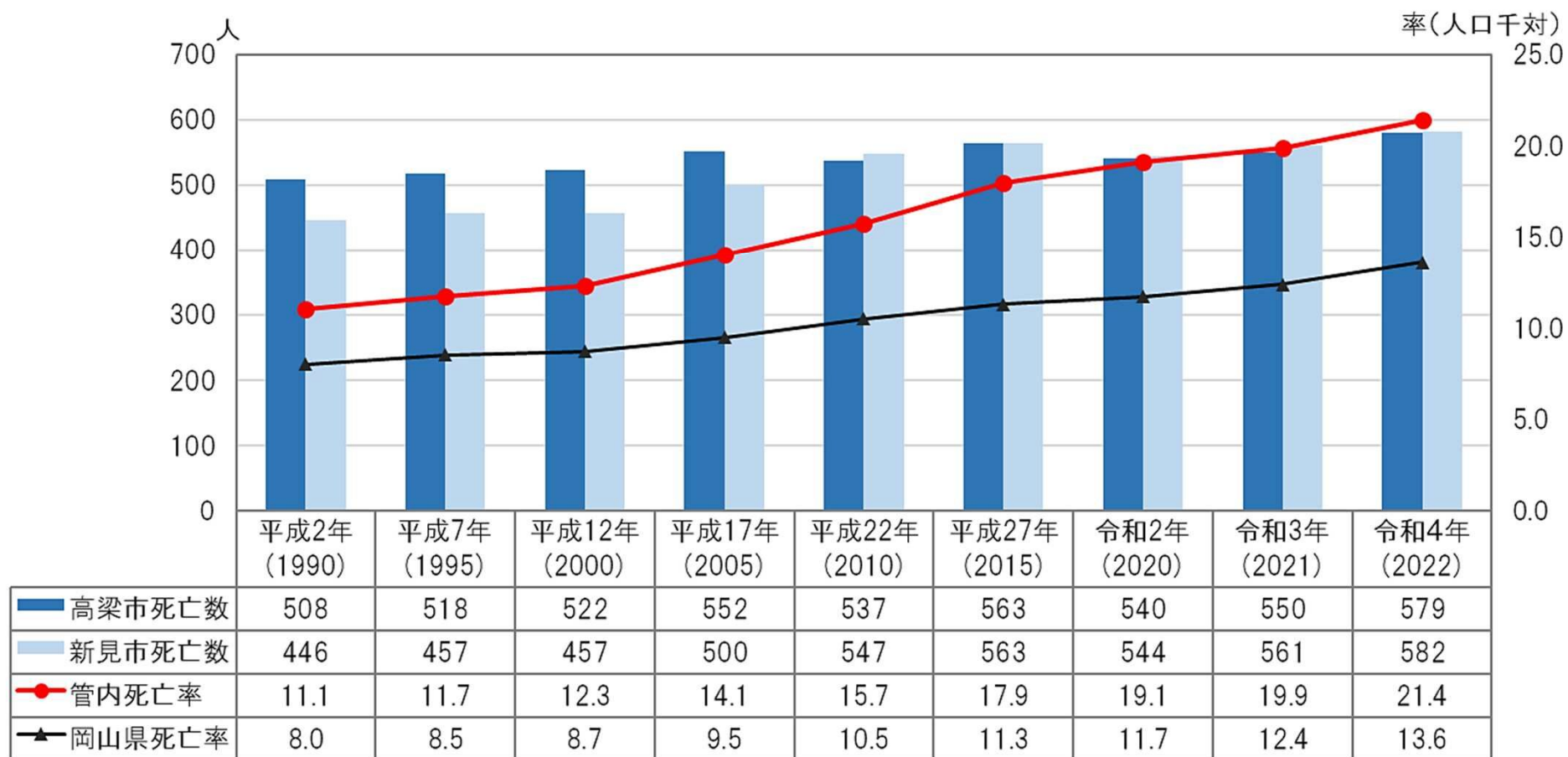
資料：総務省統計局「令和2(2020)年 国勢調査」
j STAT MAP地図で見る統計

(9) 出生数及び出生率の推移



資料：厚生労働省「人口動態統計」

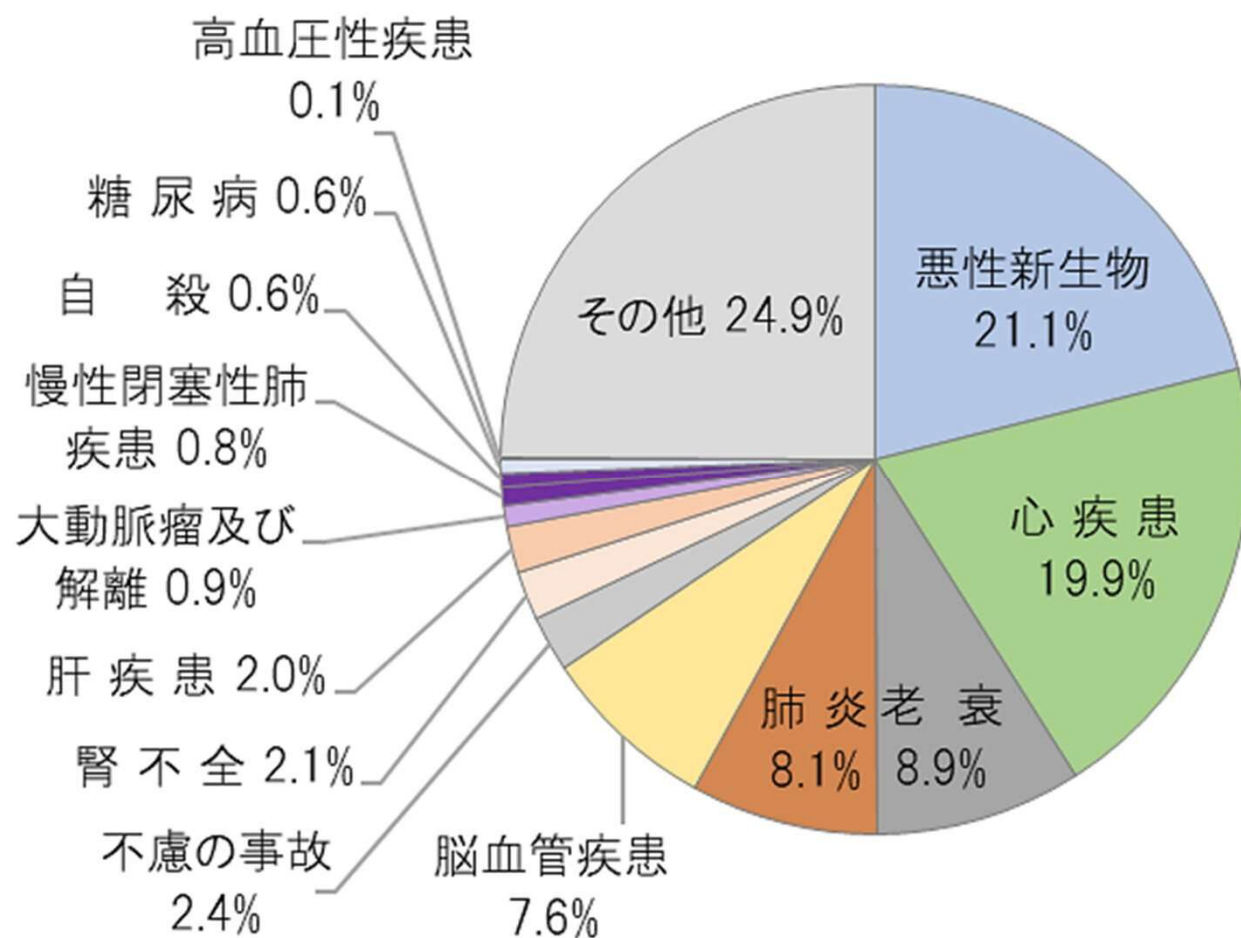
(10)死亡数及び死亡率の推移



資料：厚生労働省「人口動態統計」

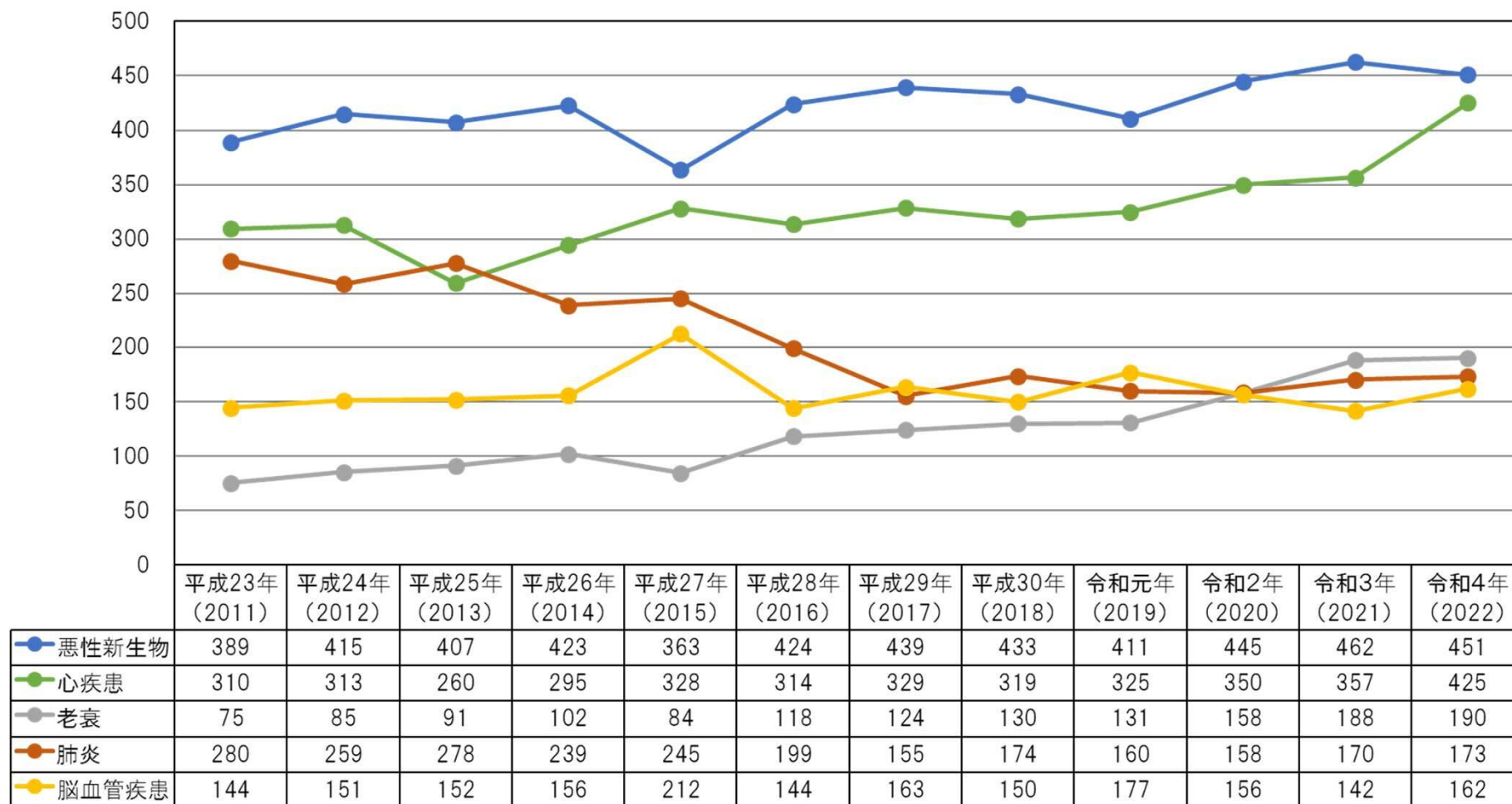
(11)管内の主な死因別の割合

令和4年・死亡数1,161人



資料：厚生労働省「令和4(2022)年人口動態統計」

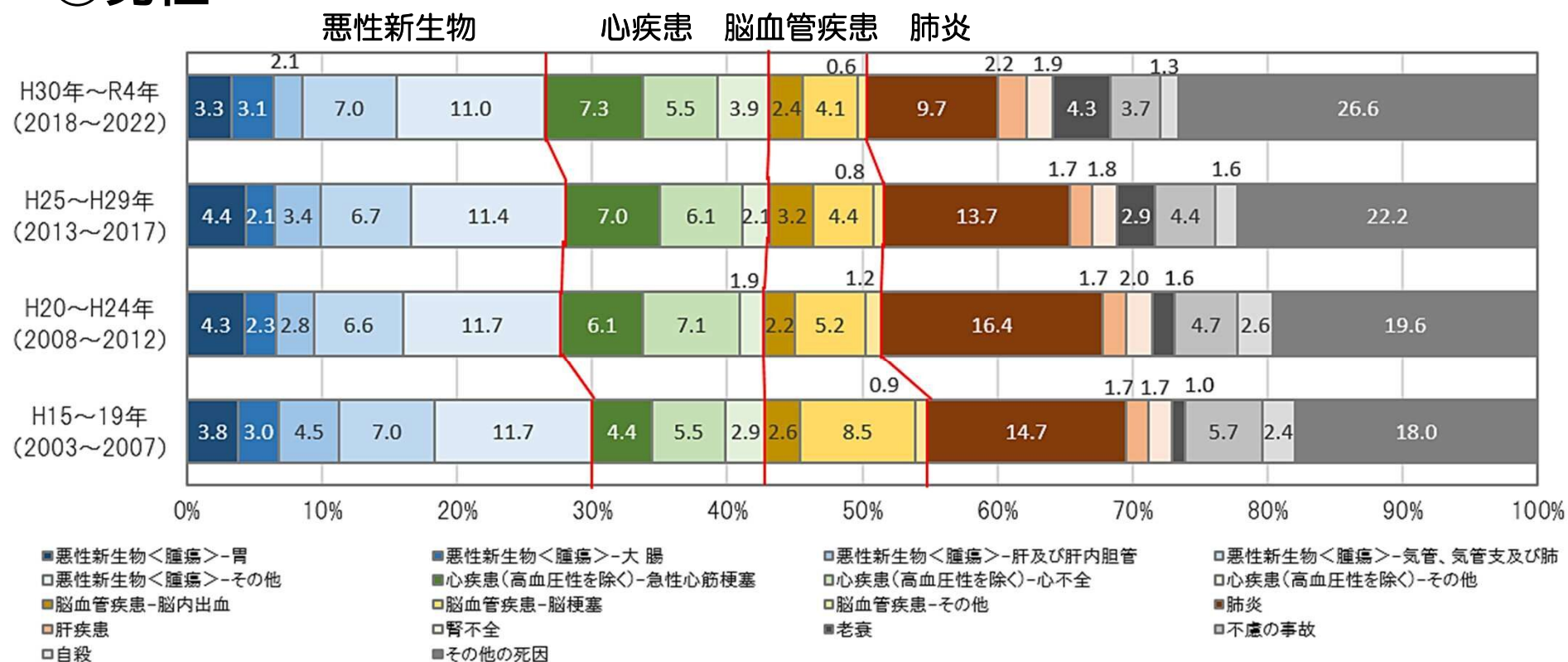
(12)管内の主な死因の年次推移(人口10万対)



資料：厚生労働省「人口動態統計」

(13)管内の主な死因別割合(性別・期間別)

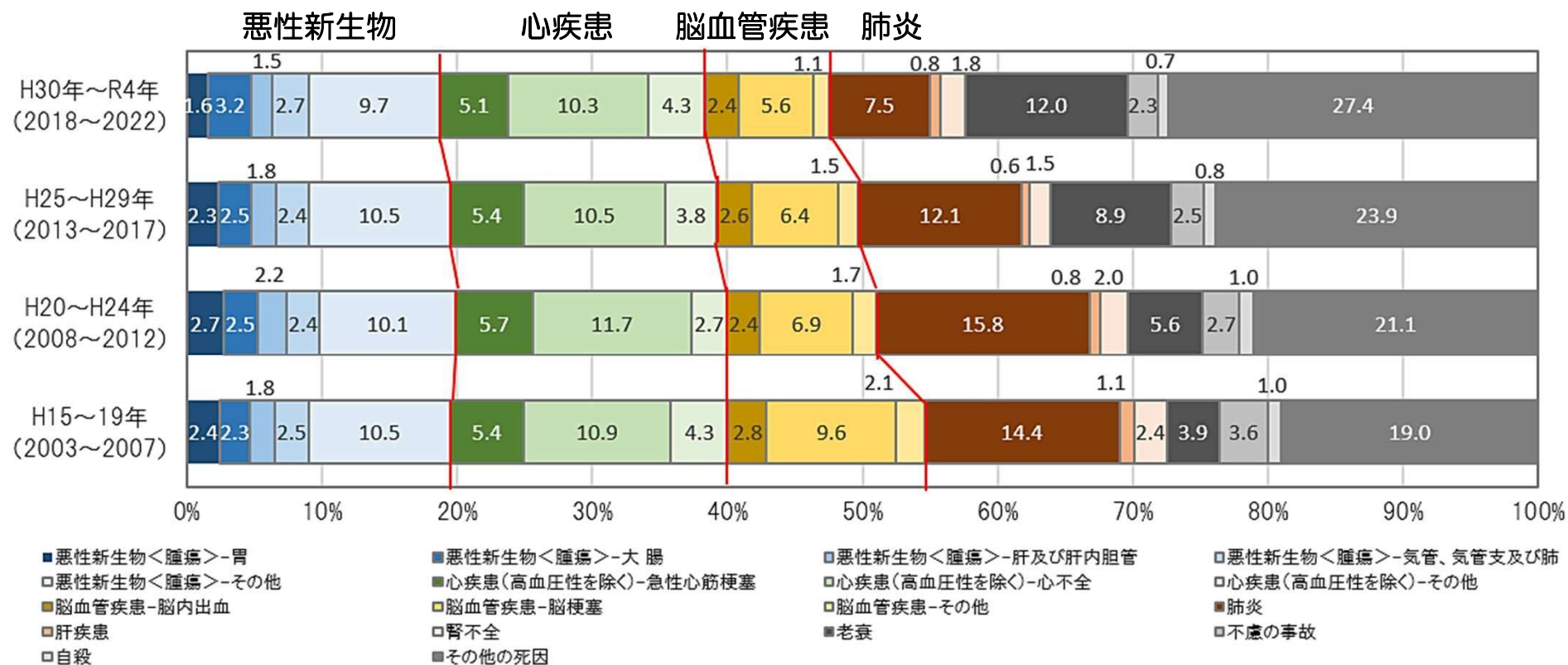
①男性



資料：厚生労働省「人口動態統計特殊報告」

(13)管内の主な死因別割合(性別・期間別)

②女性



資料：厚生労働省「人口動態統計特殊報告」

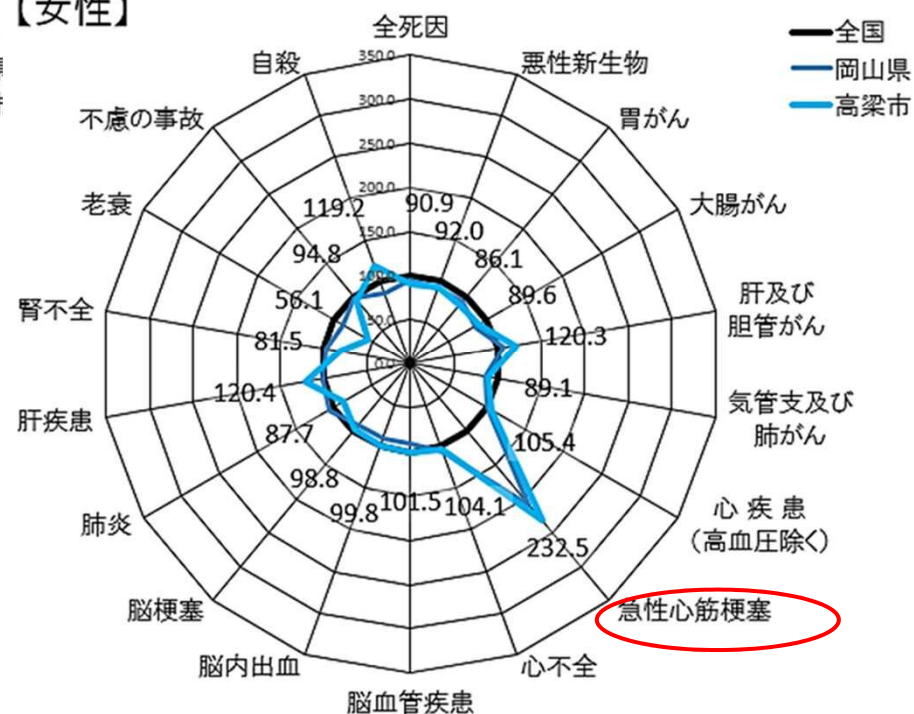
(14)疾病別標準化死亡比（SMR） ①高梁市

平成30(2018)年～令和4(2022)年 疾病別SMR ※SMR：人口構成の違いによる死亡率を補正、全国を100とする

【男性】



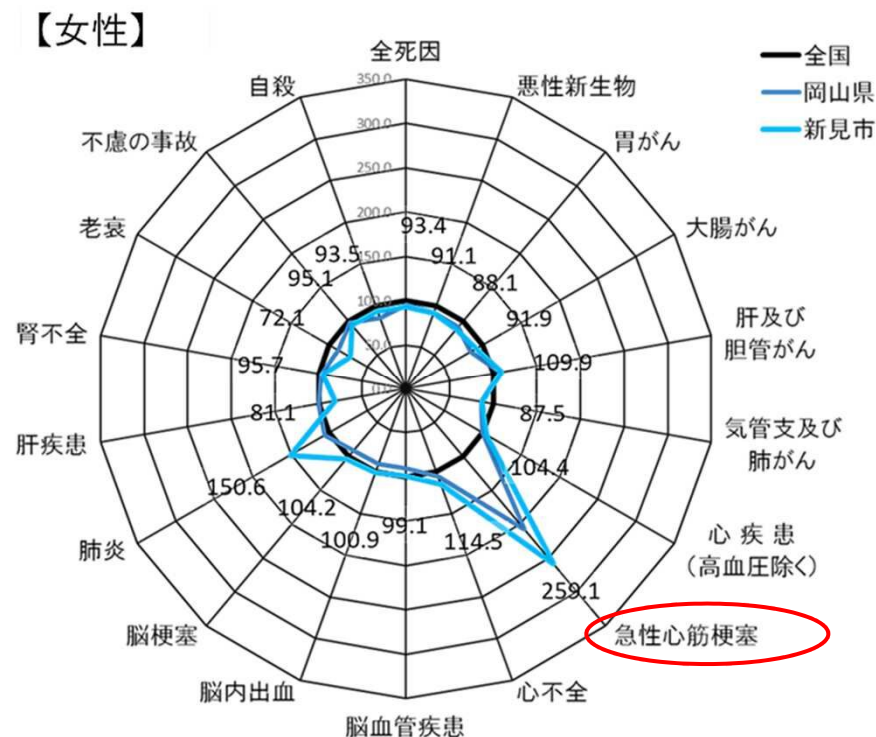
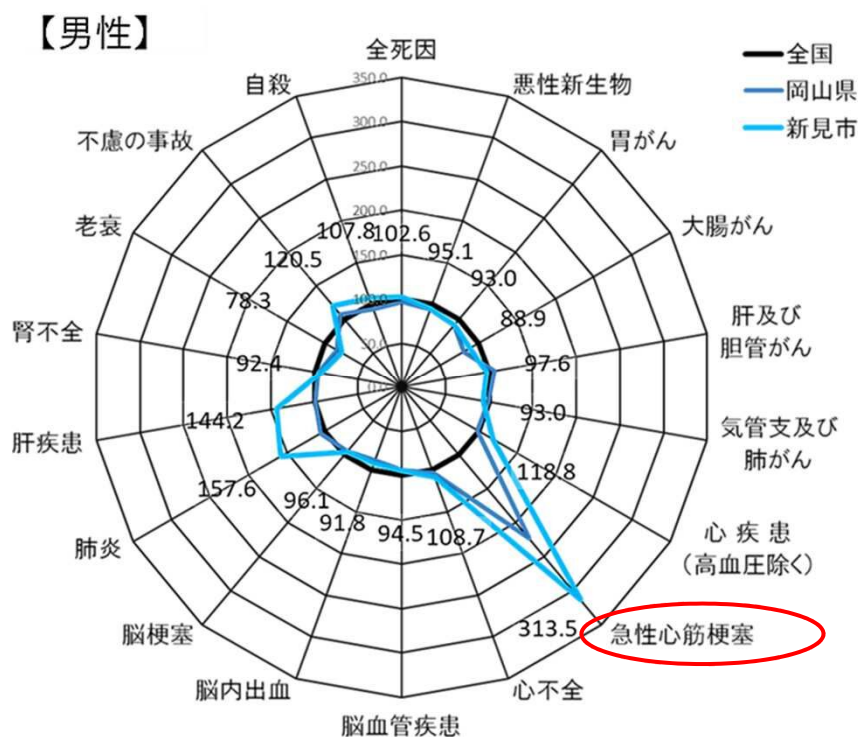
【女性】



資料：厚生労働省「平成30(2018)年～令和4(2022)年 人口動態統計特殊報告」

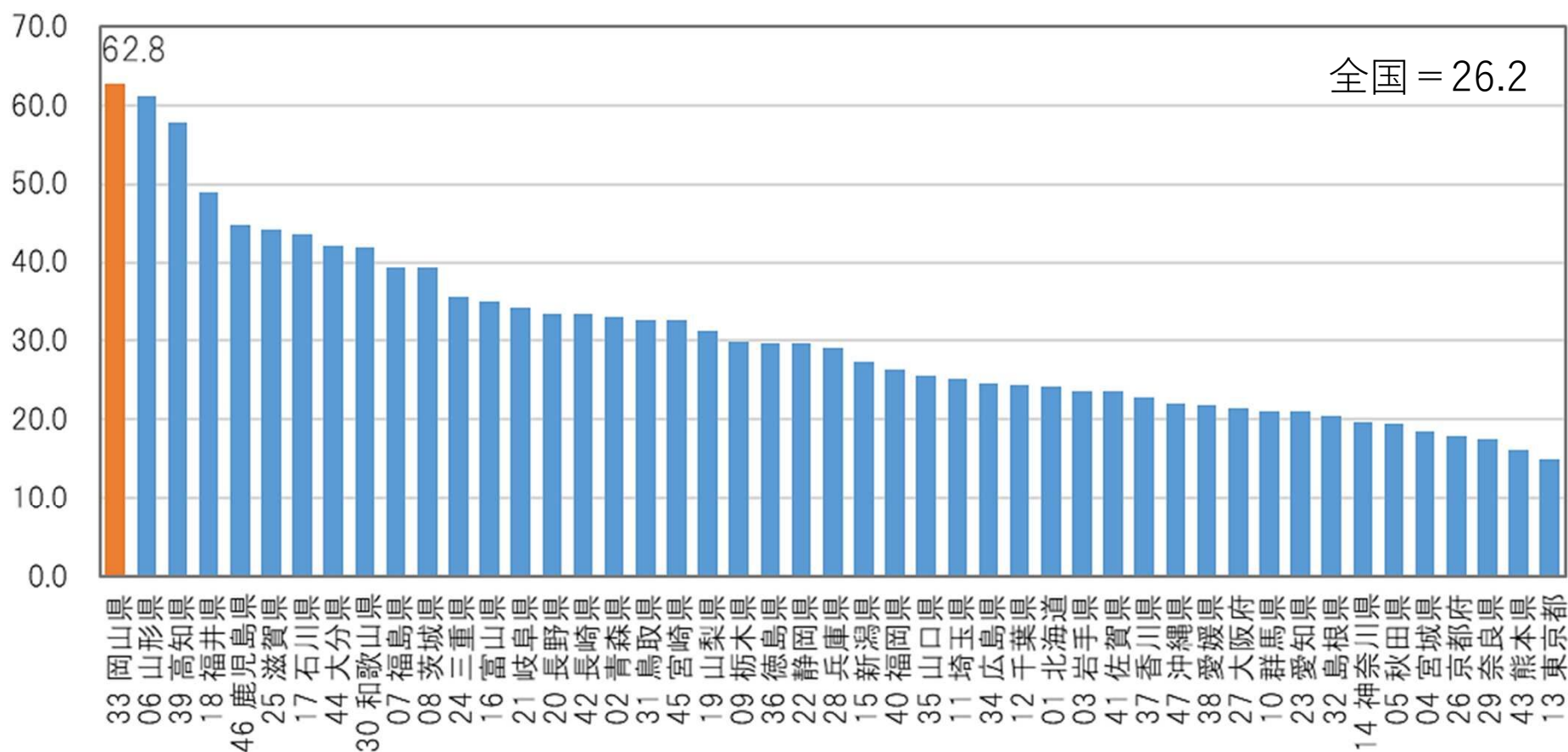
(14)疾病別標準化死亡比（SMR） ②新見市

平成30(2018)年～令和4(2022)年 疾病別SMR ※SMR：人口構成の違いによる死亡率を補正、全国を100とする



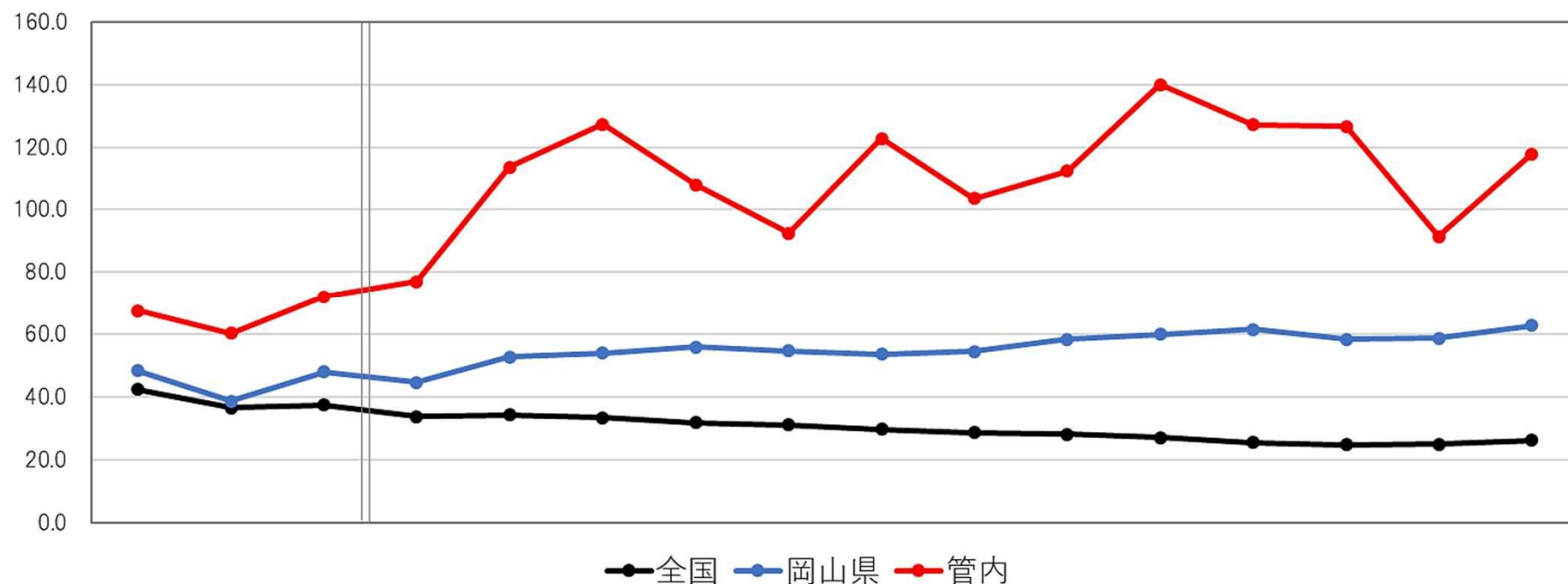
資料：厚生労働省「平成30(2018)年～令和4(2022)年 人口動態統計特殊報告」

(15)令和4(2022)年 急性心筋梗塞 人口10万対死亡率 都道府県別一下位順一



資料：厚生労働省「令和4(2022)年人口動態統計」

(16)急性心筋梗塞 人口10万対死亡率の推移 -全国・岡山県・管内-



		平成7年 (1995)	平成12年 (2000)	平成17年 (2005)	平成22年 (2010)	平成23年 (2011)	平成24年 (2012)	平成25年 (2013)	平成26年 (2014)	平成27年 (2015)	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)
死亡数	全国	52,533	45,885	47,193	42,629	43,265	42,107	39,956	38,993	37,224	35,937	34,956	33,507	31,527	30,538	30,578	32,026
	岡山県	937	750	933	861	1,015	1,034	1,069	1,042	1,020	1,031	1,103	1,126	1,147	1,086	1,085	1,150
	管内	56	48	54	53	77	85	71	60	77	64	68	83	74	72	51	64
死亡率	全国	42.3	36.5	37.4	33.7	34.3	33.4	31.8	31.1	29.7	28.7	28.0	27.0	25.5	24.7	24.9	26.2
	岡山県	48.4	38.7	48.0	44.7	52.8	53.9	55.9	54.6	53.6	54.4	58.4	60.0	61.5	58.4	58.7	62.8
	管内	67.5	60.3	72.1	77.0	113.5	127.3	107.9	92.5	122.7	103.5	112.3	139.9	127.2	126.6	91.4	117.8

資料：厚生労働省「人口動態統計」

(注) 単位は死亡数：人、死亡率：人口10万対

(17)管内の医療機関・保健関係施設等の状況

(令和6(2024)年4月1日現在)

	高梁市	新見市	計
病院	4(うち精神科1)	4	8(うち精神科1)
(再掲) 在宅療養支援病院	2	2	4
一般診療所※	19(うち休止1)	21(うち休止1)	40(うち休止2)
(再掲) へき地診療所	7	11(うち休止1)	18(うち休止1)
(再掲) 有床診療所	1	2	3
(再掲) 在宅療養支援診療所	4(うち休止1)	1	5(うち休止1)
歯科診療所	15(うち休止1)	11(うち休止1)	26(うち休止2)
(再掲) へき地診療所	1	-	1
(再掲) 在宅療養支援歯科診療所	5	3	8
休日夜間診療所	-	1	1
薬局	10	11	21
(再掲) 保険調剤薬局	10	11	21
(再掲) 在宅患者訪問薬剤管理指導届出薬局※	10	7	17
訪問看護ステーション	5(うち休止1)	3	8(うち休止1)
地域包括支援センター	1(3支所)	1	2(3支所)

資料：備北保健所

(注) 「一般診療所」は施設内診療所を除く。また、「(再掲)在宅患者訪問薬剤管理指導届出薬局」には、(一社)岡山県薬剤師会の令和6(2024)年4月調査による在宅可能薬局を含む。在宅可薬局を含む。地域包括支援センター括弧内は、成羽・川上・備中の3支所。

(18)管内医療機関の診療科目

(令和6(2024)年10月1日現在)

	病院	診療所	計
総数	8	66	74
内科	7	36	43
呼吸器内科	2	0	2
循環器内科	6	1	7
消化器内科（胃腸内科）	1	2	3
腎臓内科	1	0	1
神経内科	2	3	5
糖尿病内科（代謝内科）	3	0	3
血液内科	1	0	1
皮膚科	4	2	6
アレルギー科	0	0	0
リウマチ科	2	2	4
感染症内科	0	0	0
小児科	1	16	17
精神科	2	3	5

	病院	診療所	計
心療内科	2	1	3
外科	5	7	12
呼吸器外科	1	0	1
心臓血管外科	0	0	0
乳腺外科	0	0	0
気管食道外科	0	0	0
消化器外科（胃腸外科）	1	0	1
泌尿器科	3	0	3
肛門外科	1	0	1
脳神経外科	3	1	4
整形外科	5	1	6
形成外科	2	0	2
美容外科	0	0	0
眼科	3	2	5
耳鼻いんこう科	3	1	4

	病院	診療所	計
小児外科	0	0	0
産婦人科	0	2	2
産科	0	0	0
婦人科	3	0	3
リハビリテーション科	5	2	7
放射線科	5	2	7
麻酔科	3	0	3
病理診断科	0	0	0
臨床検査科	0	0	0
救急科	0	0	0
歯科	1	26	27
矯正歯科	0	5	5
小児歯科	0	8	8
歯科口腔外科	0	5	5

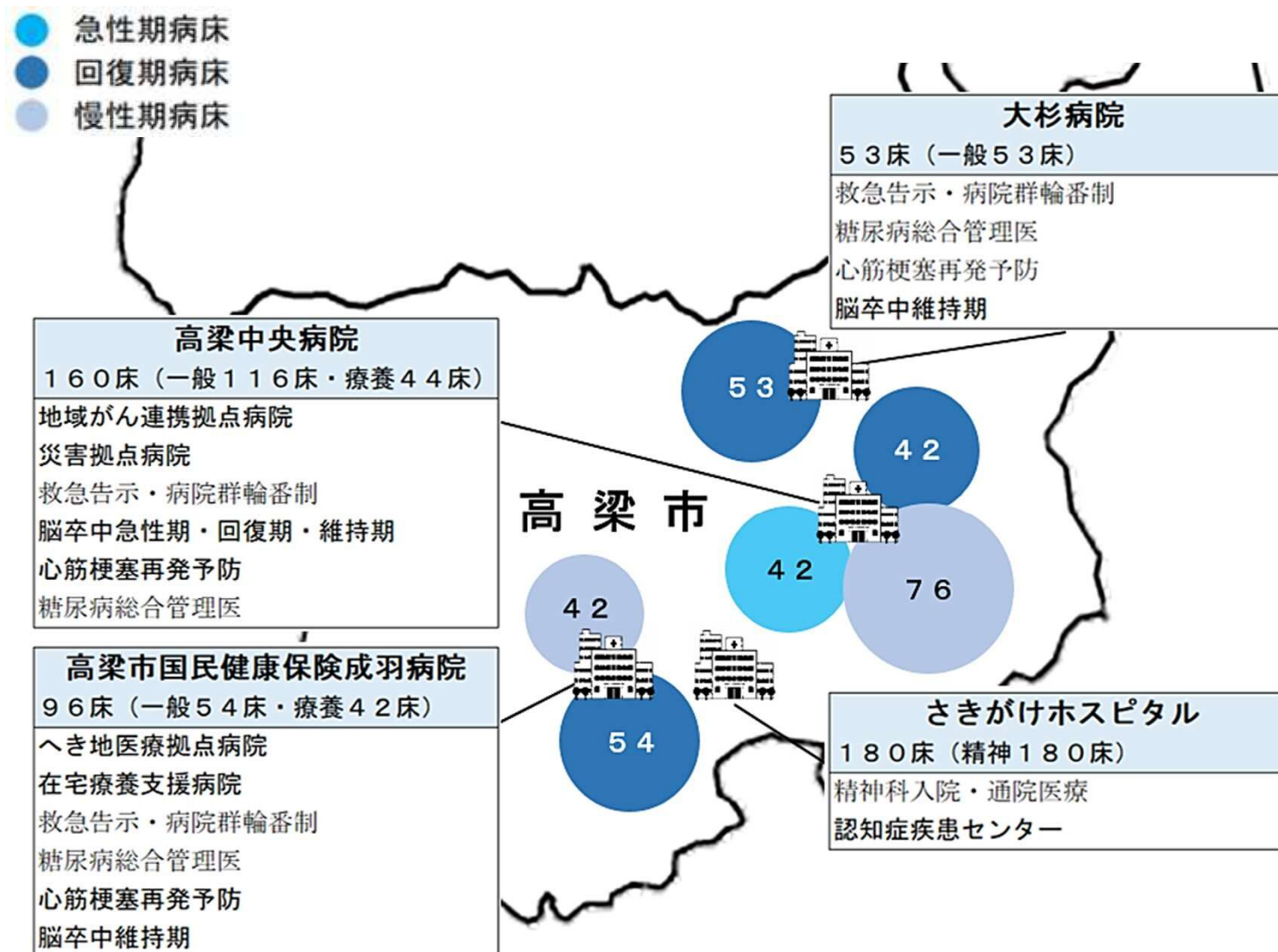
資料：備北保健所
医療法に基づく届出による

最新の地域内医療機関情報の集計値（人口10万人あたりは、2020年国勢調査総人口で計算）

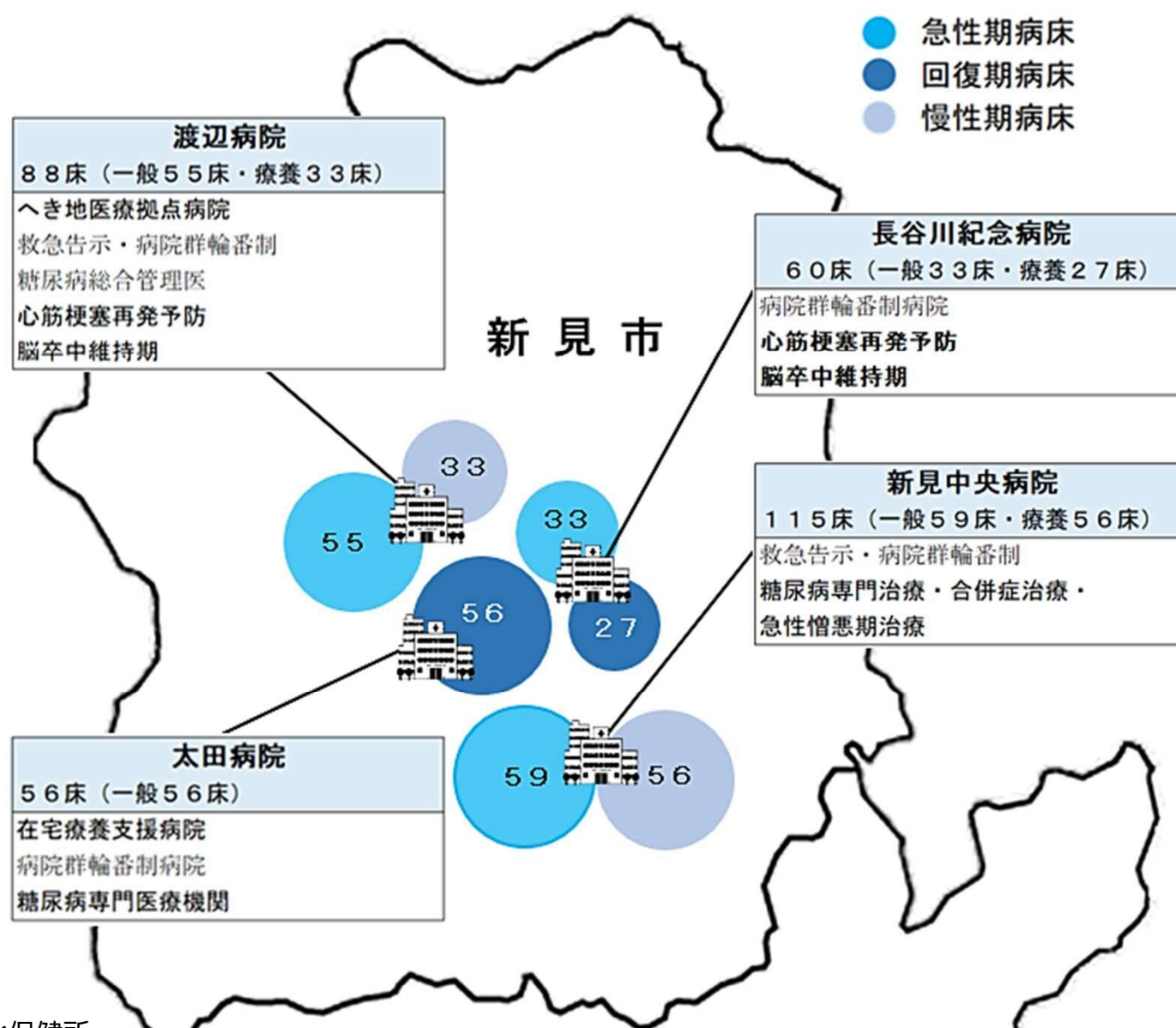


(19)管内の病院機能と分布 ①高梁市

(令和6(2024)年4月1日現在)

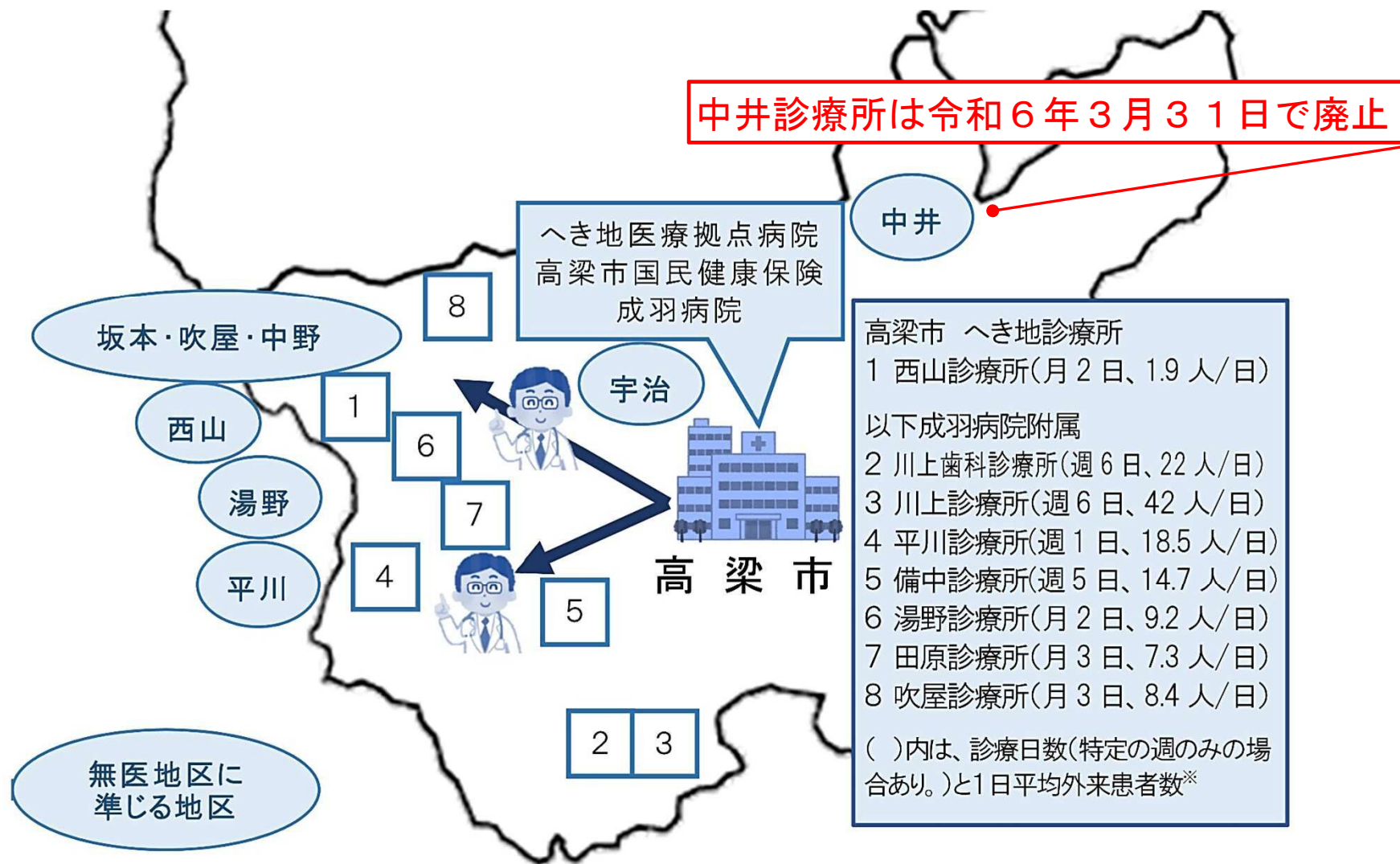


(19)圏域内の病院機能と分布 ②新見市 (令和6(2024)年4月1日現在)



資料：備北保健所

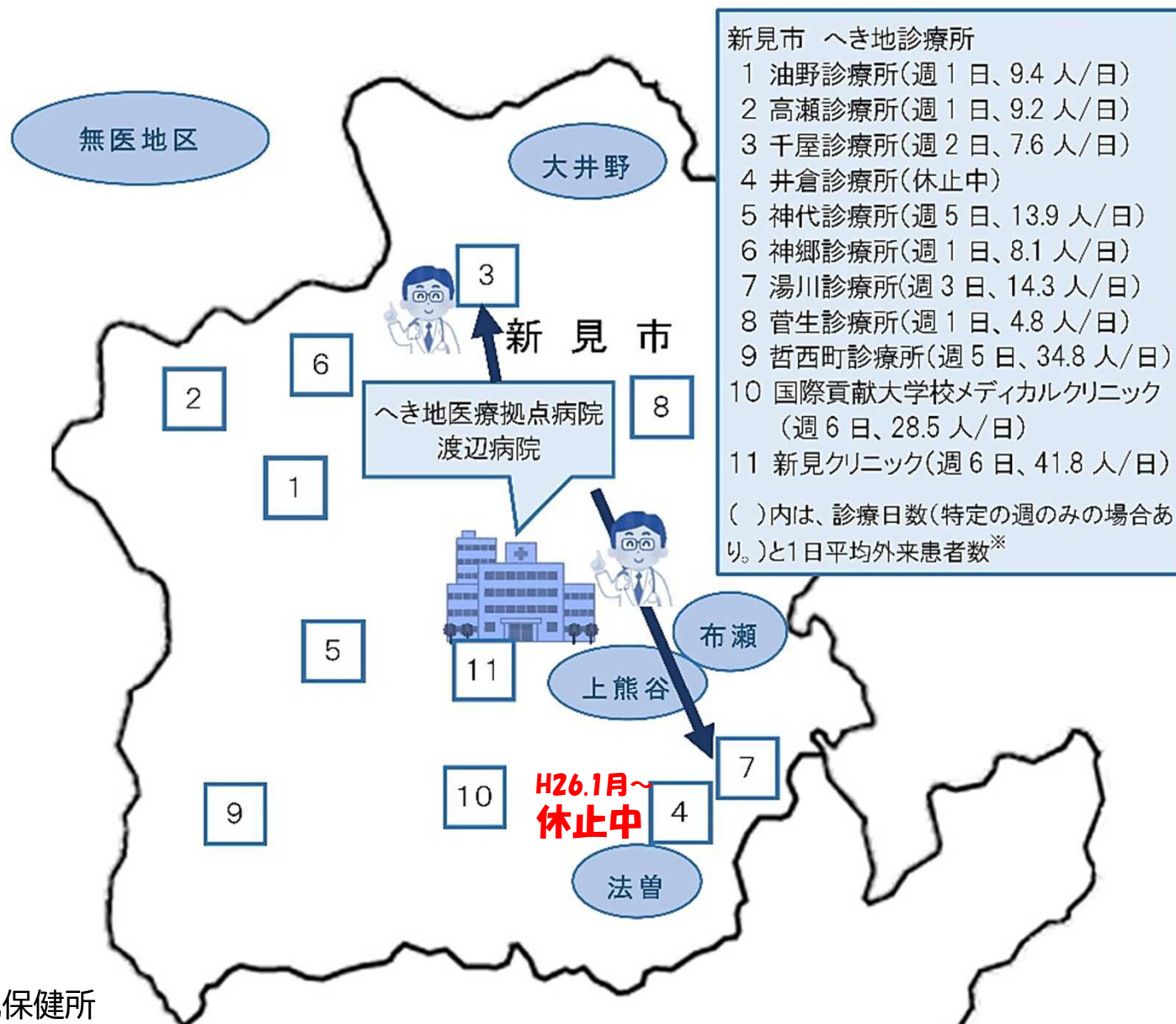
(20)へき地における診療体制 ①高梁市（令和6（2024）年4月1日時点）



資料：備北保健所

※1日平均外来患者数は、令和5（2023）年6月1日時点の「おかやま医療情報ネット」による。

(20)へき地における診療体制 ②新見市 (令和6(2024)年4月1日時点)

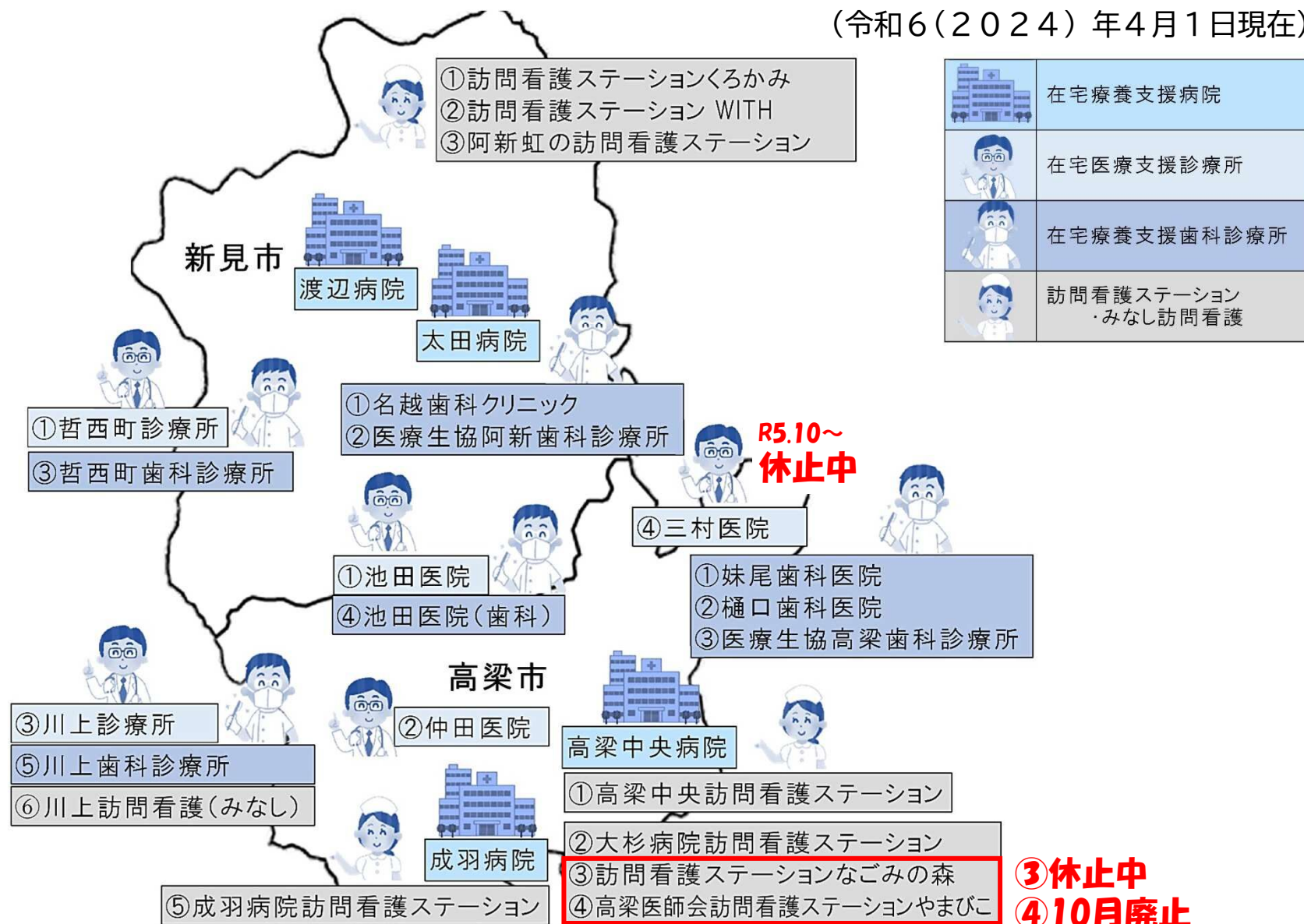


資料：備北保健所

※1日平均外来患者数は、令和5(2023)年6月1日時点の「おかやま医療情報ネット」による。31

(21)在宅療養支援病院・診療所及び在宅療養支援歯科診療所

(令和6(2024)年4月1日現在)



最新の地域内医療機関情報の集計値（人口10万人あたりは、2020年国勢調査総人口で計算）

高梁・新見医療圏

人口10万人あたり施設数

	施設 数	高梁・ 新見医療	全国平均	
在宅療養支援診療所1：機能強化型（単独型）	1	1.75	0.22	1.75 0.22
在宅療養支援診療所2：機能強化型（連携型）	0	0.00	3.19	0.00 3.19
在宅療養支援診療所3 その他	5	8.75	8.48	8.75 8.48
在宅療養支援診療所合計	6	10.50	11.89	10.50 11.89
在宅療養支援病院1：機能強化型（単独型）	0	0.00	0.24	0.00 0.24
在宅療養支援病院2：機能強化型（連携型）	0	0.00	0.40	0.00 0.40
在宅療養支援病院3 その他	4	7.00	1.00	7.00 1.00
在宅療養支援病院合計	4	7.00	1.64	7.00 1.64
在宅療養後方支援病院合計	0	0.00	0.46	0.00 0.46
訪問歯科合計	16	28.00	32.32	28.00 32.32
訪問薬局合計	20	35.00	44.50	35.00 44.50



(22)保健医療従事者 ①医師、歯科医師、薬剤師

医師、歯科医師、薬剤師数(登録者数)

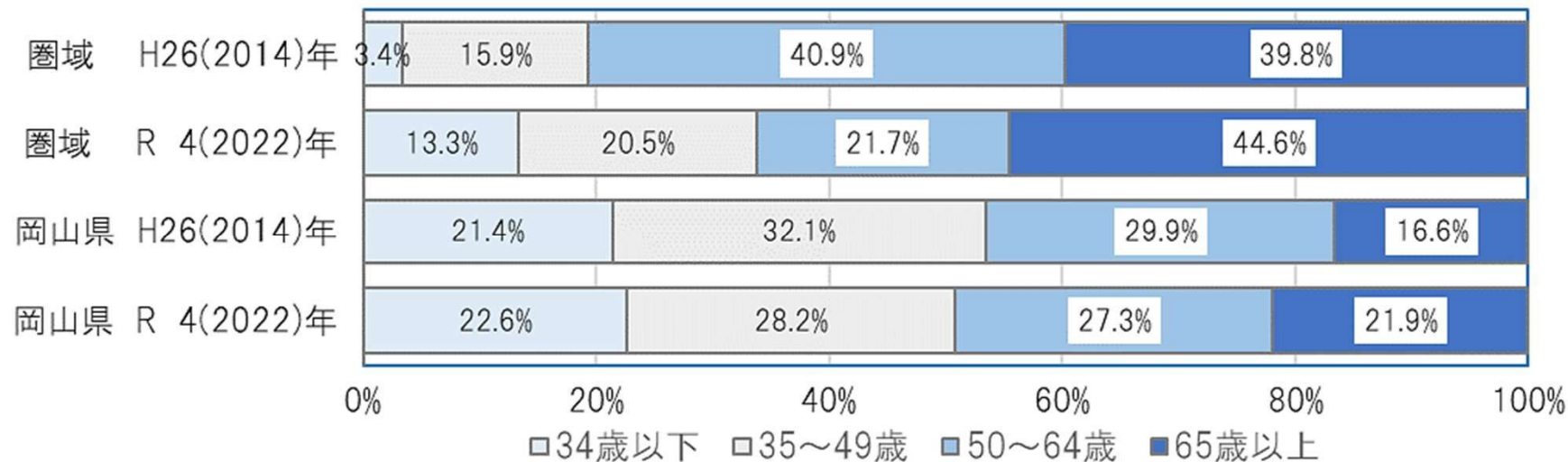
(各年12月31日現在)

区分		医師		歯科医師		薬剤師	
		人数(人)	人口10万対	人数(人)	人口10万対	人数(人)	人口10万対
圏域	平成26(2014)年	99	152.7	37	57.1	105	162.0
	令和4(2022)年	101	185.9	34	62.6	97	178.5
岡山県	平成26(2014)年	5,760	299.4	1,715	89.1	3,937	204.6
	令和4(2022)年	6,271	336.8	1,764	94.7	4,245	228.0

資料：厚生労働省「平成26(2014)年 医師・歯科医師・薬剤師調査」、「令和4(2022)年 医師・歯科医師・薬剤師統計」、岡山県統計分析課「岡山県毎月流動人口調査」

医療施設勤務医師の年齢構成割合

(令和4(2020)年12月31日現在)



資料：厚生労働省「平成26(2014)年 医師・歯科医師・薬剤師調査」、「令和4(2022)年 医師・歯科医師・薬剤師統計」

(23)保健医療従事者 ②保健師・助産師・看護師・准看護師

保健師、助産師、看護師、准看護師数

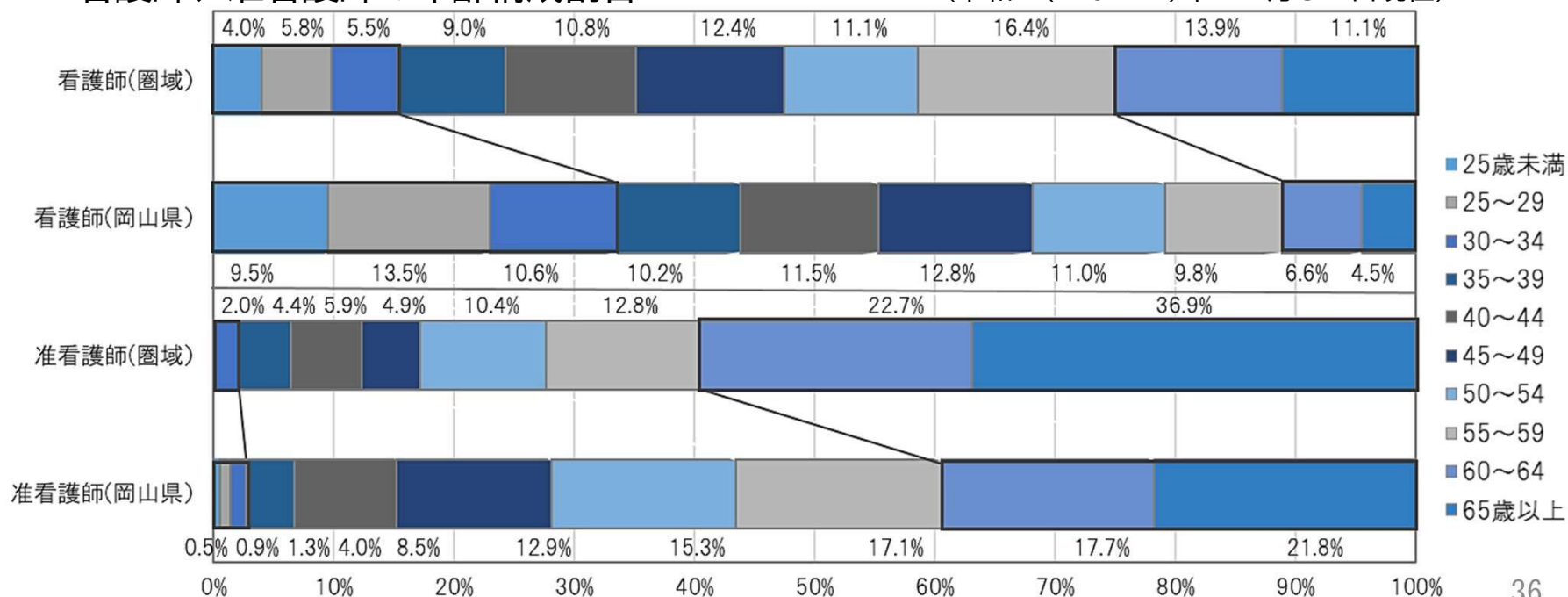
(各年12月31日現在)

		保健師		助産師		看護師		准看護師	
		人数(人)	人口 10万対	人数(人)	人口 10万対	人数(人)	人口 10万対	人数(人)	人口 10万対
圏域	平成 28(2016)年	69	111.6	10	16.2	574	928.5	264	427.0
	令和 4(2022)年	77	141.7	11	20.2	621	1,143.0	203	373.6
岡山県	平成 28(2016)年	974	50.9	517	27.0	22,563	1,178.0	4,828	252.1
	令和 4(2022)年	1,159	62.2	560	30.1	24,654	1,324.1	3,641	195.5

資料：厚生労働省「衛生行政報告例」、岡山県統計分析課「岡山県毎月流動人口調査」

看護師、准看護師の年齢構成割合

(令和4(2022)年12月31日現在)



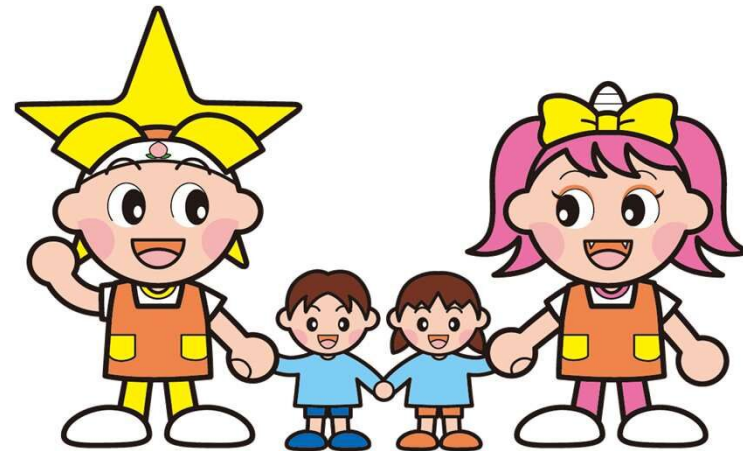
資料：令和4(2022)年保健師助産師看護師法第33条の規定による看護職員業務従事者届

令和6年度備北保健所の重点施策

基本方針

「第3次晴れの国おかやま生き生きプラン」及び「第2期おかやま創生総合戦略」に基づき、県政の基本目標である全ての県民が明るい笑顔で暮らす「生き生き岡山」の実現に向け、喫緊の課題である人口減少問題を克服し、本県の持続的な発展に向けた確実な道筋を示すため、市町をはじめとする様々な主体と連携し、安心して暮らせる豊かな備中地域を目指して、保健、医療、福祉に関わる取組の一層の推進を図っていく。

以上の基本方針に沿って、令和6年度の備北保健所の重点施策を次のとおりとする。



令和6年度備北保健所の重点施策

- 1 地域における医療提供体制の整備
(地域包括ケアシステムの深化・推進)
- 2 心と体の健康づくりの推進
(障害のある人に対する支援)
- 3 子ども・子育て支援の充実強化
(切れ目のない母子保健の推進)
- 4 生活衛生及び医薬安全対策の推進等

1 地域における医療提供体制の整備 (地域包括ケアシステムの深化・推進)

第9次岡山県保健医療計画（高梁・新見圏域保健医療計画）の推進

総合的な体制の整備



保健医療対策協議会 及び サブワーキング

地域医療構想の推進

医療機能の分化と連携の促進

過不足のない医療提供体制の構築



地域医療構想調整会議 及び サブワーキング

災害・救急医療体制の強化

関係機関相互の密接な連携

情報共有体制の強化



救急医療体制推進協議会・広域災害救急医療情報システム

地域医療介護連携の推進

- ・新見市在宅医療介護連携推進協議会
- ・新見地域医療ネットワーク（実務者会議）
- ・在宅医療システム研究会（医師会）



- ・高梁市在宅医療・介護連携推進協議会
- ・実務者部会
- ・高梁かごねっと（高梁医師会）

(1) 第9次岡山県保健医療計画(高梁・新見圏域保健医療計画)の推進

■岡山県保健医療計画

- ・ 医療法第30条の4第1項に基づき、都道府県が策定する医療計画で、現在、令和6(2024)年度から令和11(2029)年度までの第9次岡山県保健医療計画を策定済み。
- ・ 市町村においては、保健医療行政の計画的な推進のための指針となることを期待するもの。
- ・ この県保健医療計画の中に、高梁・新見保健医療圏に関する「**地域保健医療計画**」を策定。
- ・ 当圏域においては、重点課題（①へき地医療②在宅医療、③心筋梗塞の医療、④救急医療）について具体的な施策を推進するための議論を実施。

	保健医療計画施策の方向性抜粋
へき地医療	・医療機関・行政が連携しへき地・在宅医療の遠隔医療に対する需要調査を含め、<u>遠隔医療の導入可能性に関する具体的検討</u>を実施
在宅医療	・医療アクセスが不便な地域でも良質な医療が受けられるよう<u>情報通信システムを活用し在宅診療に当たれるよう連携体制を進める</u> ・在宅医療介護資源の確保・医療介護連携・看取り
心筋梗塞の医療	・健診・医療機関の早期受診・食生活の改善を勧める ・AED設置場所・救急講習会への参加勧奨 ・県南医療機関との連携・早期治療
救急医療	・圏域内での応需率の向上に向けた協議 ・ドクターヘリ・ドクターカーの活用 ・住民への啓発（かかりつけ医を持ち平日昼間の早めの受診をすすめる）

【実施状況】

ア 高梁・新見圏域保健医療対策協議会（ハイブリッド開催）

開催日：第1回 令和6年7月18日、第2回 令和7年2月予定

内容：・第9次保健医療計画の概要

- ・高梁・新見圏域における重点課題・要因分析の共有
- ・周産期医療及び母子保健の取組について
- ・今後の取組について意見交換

出席者：21人

医師会・病院協会・歯科医師会・薬剤師会・看護協会・住民・
各市代表者



イ 高梁・新見圏域救急医療体制推進協議会

心筋梗塞啓発チラシ作成

軽症者の救急搬送・周産期医療と救急搬送について協議

ウ 中山間地域における看護職員確保推進の体制整備事業

岡山県令和6年新規事業

対象エリア 高梁新見医療圏域

事業内容 岡山県が岡山県看護協会へ委託し事業の実施

・看護職員確保推進実務者企画による取組

看護体験・相談会・学生と看護職の交流等

・コーディネーター配置

・専門性の高い看護師を増やす

地域施設内で活動できる支援

実施状況：取組協議 高梁エリア 令和6年7月23日

新見エリア 令和6年9月30日

今後の予定 高梁市看護職員確保検討部会での検討

看護協会新見支部での検討

(2) 地域医療構想の推進

■地域医療構想

【目的】

- ・さらなる今後の人口減少・高齢化に伴う医療ニーズの質・量の変化や労働力人口の減少を見据え、質の高い医療を効率的に提供できる体制を構築。
- ・医療機関の機能分化・連携を**地域医療構想調整会議**で推進。

【内容】

① 2025年の医療需要と病床の必要量

- ・高度急性期・急性期・回復期・慢性期の4機能ごとに医療需要と病床の必要量を推計
- ・在宅医療等の医療需要を推計
- ・都道府県内の構想区域（**二次医療圏が基本**）単位で推計

（二次医療圏）

一般の入院に係る医療を提供することが相当である単位として設定。

その際、以下の社会的条件を考慮。

- ・地理的条件等の自然的条件
- ・日常生活の需要の充足状況
- ・交通事情等

⇒ **高梁・新見保健医療圏**

② 議論する内容（地域医療構想策定ガイドラインより抜粋）

- ・地域の病院・有床診療所が担うべき病床機能に関する協議
- ・病床機能報告制度による情報等の共有
- ・都道府県計画に盛り込む事業に関する協議
- ・その他の地域医療構想の達成の推進に関する協議

令和6年度より新たに医療機関・有床診療所の開設者が委員として就任
保健医療圏域ごとの**医療需要の推計や医療提供状況**を元に、病院が今後力を入れていく**疾病や治療・患者数を検討し、今後病院が力を入れていく方向性**を共有しながら地域医療について検討した。

【実施状況】

ア 高梁・新見地域医療構想調整会議（ハイブリッド開催）

開催日：第1回 令和6年7月18日、第2回 令和7年2月予定

内容：・オープンデータを用いた**医療需要と供給（実績値）の可視化**
・各医療機関における今後の方向性について再共有
・今後の進め方について報告

出席者：29人

医師会・病院協会・各病院・有床診療所・歯科医師会・薬剤師会
看護協会・介護関係者・住民・各市代表者及びオブザーバー

イ 高梁・新見地域医療構想調整会議に係るサブワーキング

開催月 11月頃 高梁エリア・新見エリアで予定



(3) 災害・救急医療体制の強化

圏域における関係機関相互の緊密な連携を通じて、救急医療体制の整備推進を図る。

【実施状況】

高梁・新見圏域救急医療体制推進協議会

開催日：令和6年9月17日

内容：・令和5年度事業報告、令和6年度事業計画
・**広域災害救急医療情報システム（EMIS）**の入力訓練結果
・**救急搬送**等の現状について（高梁・新見消防本部）

主な協議内容①軽症者や救急の対象とならない人への対応

②周産期医療と救急対応

出席者：15人

医師会、消防本部、警察署、病院協会、
市代表者



- 65歳以上の**高齢者の救急搬送**は高梁市75.7%、新見市76.3%国の2040年の推計を既に超える
- 交通弱者への対応などある程度は許容
かかりつけ患者は自院で診る
- #7119 **にいみ24時間安全安心ダイヤル**
等情報交換しました

(4) 地域医療介護連携の推進

要介護状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを送ることができるよう、**市や医師会等と連携して医療介護を担う多職種・多機関の連携会議に保健所も参画。**

情報共有の方法、連携の課題、研修や取組について多職種で協議。
保健医療計画の在宅医療等の課題取組協議

	多職種連携体制	主な取り組み
高梁市	高梁市在宅医療・介護連携推進協議会	地域医療・介護資源把握、課題の抽出 対応策検討、切れ目ない在宅医療提供体制の構築 医療介護関係者の情報共有・相談支援 関係者研修、地域への啓発、広域連携
	実務者部会	医療・介護の課題抽出、協議会の課題を具体化 研修会の企画運営
	高梁かんごねっと（高梁医師会）	看看連携体制の確立、人材確保と育成 その他在宅医療・介護連携に必要な事項
新見市	新見市在宅医療介護連携推進協議会	医療介護連携事業の推進における方針を協議
	新見地域医療ネットワーク（実務者会議）	課題の抽出と対応策検討 切れ目のない連携体制の構築 地域住民への啓発
	在宅医療支援システム研究会（医師会）	医療介護資源の把握、医療介護に関する相談支援 情報共有、知識習得研修等支援者の支援

2 心と体の健康づくりの推進 (障害のある人に対する支援)

体の健康づくり

たばこからの健康
影響普及講座



健康づくりボラン
ティアの組織育成

生活習慣病の予防・
重症化予防の推進

- ・がん対策の推進
- ・糖尿病重症化予防対策
- ・給食施設管理者・従事者研修会の開催



心の健康づくり (精神障害者への対策)

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

地域移行・
地域定着支援

ピアサポート支援

依存症対策

自殺予防対策

ひきこもり対策



地域移行支援連絡会議

感染症対策の推進

結核対策



性感染症対策

新興感染症への備え



マスクとアイシールドで
粘膜保護

1処置ごとに手指消毒

こまめな換気
(目安: 30分おき)

備北保健所
健康危機対処
計画の策定

高齢者施設・
保育所等への
感染症予防
研修

難病対策の推進

特定医療費

災害時(要配慮者)の支援

医療福祉相談会

難病患者・家族の集い



(1) 体の健康づくり

ア 喫煙対策

① たばこからの健康影響普及講座

- ・ 若者からのたばこ対策として、小学生を対象に専門的知識を有する講師（薬剤師等）を派遣し出前講座を開催した。
- ・ たばこの害や喫煙防止について知識の普及を図った。

実施校(令和5年度実績)

備北保健所	小学校4校 94人
新見支所	小学校3校 32人



小学校での様子

② 受動喫煙対策 (令和6年3月31日現在)

	敷地内全面禁煙実施施設	屋内全面禁煙宣言施設
備北保健所	67施設	41施設
新見支所	70施設	45施設



イ 生活習慣病の予防と重症化予防の推進

①がん対策の推進

- ・愛育委員会と連携したがん検診の受診促進
- ・がん受診率・精密検査率等精度管理と対策について市と協議
- ・がん医療連携推進病院や医師会との研修会への参加

②糖尿病重症化予防対策等

各市データヘルス計画・健康増進計画に基づき以下の事業が連動して取組めるように市関係課・医師会・糖尿病学会担当医・岡山大学病院関係者と相談しながら推進

【令和5年度実績】

・保健所国保ミーティング事業	備北保健所	2回
	新見支所	4回
・糖尿病予防戦略事業	備北保健所	5回
	新見支所	6回

他市町との
比較
好事例紹介

③給食施設管理者・従事者研修会の開催

安全に衛生的に給食が提供できるよう、健康づくりに寄与できるよう研修会を実施



【令和5年度実績】

備北保健所	2回
新見支所	2回

ウ 健康づくりボランティアの組織育成

- ・がん検診受診勧奨、生活習慣病予防、食育の推進、子育て支援等、生涯にわたる健康づくりの推進を行う愛育委員、栄養委員と地域活動を協働で実施。

委員数（令和6年4月1日現在）

単位：人

	備北保健所	新見支所	計
愛育委員	623	515	1,138
栄養委員	119	317	436

高梁新見エリアの交流
他地域の好事例紹介



健康づくり普及事業



愛育委員、栄養委員リーダー研修会



大学でのがん検診受診勧奨啓発活動



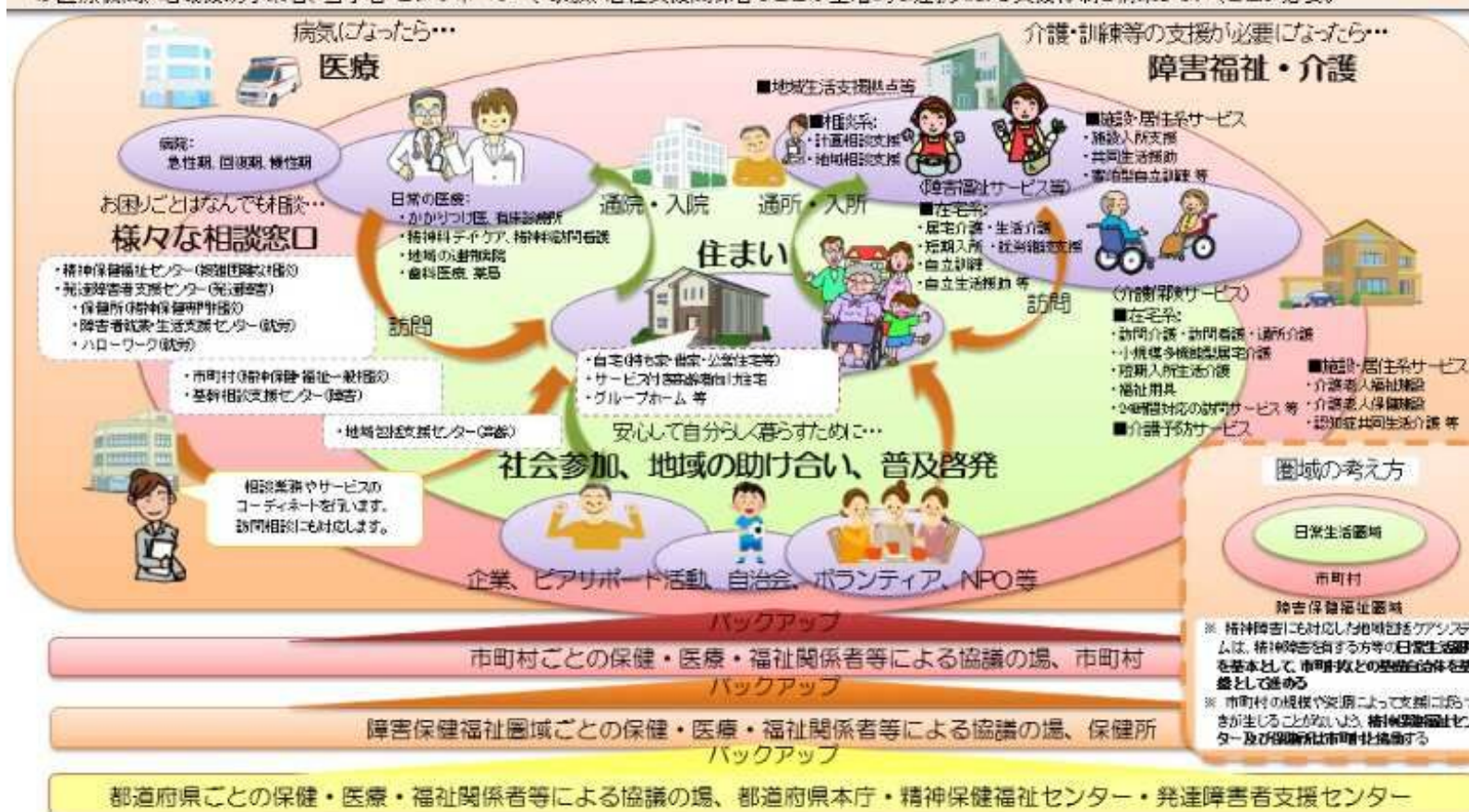
がん検診受診勧奨街頭活動

(2) 心の健康づくり（精神障害者対策）

ア 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築（イメージ）

- 精神障害の有無や程度にかかわらず、誰もが安心して自分らしく暮らすことができるよう、医療・障害福祉・介護、住まい、社会参加（就労など）、地域の助け合い、普及啓発（教育など）が包括的に確保された精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築を目指す必要があり、同システムは地域共生社会の実現に向けていく上では欠かせないものである。
- このような精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築にあたっては、計画的に地域の基盤を整備するとともに、市町村や障害福祉・介護事業者が、精神障害の有無や程度によらず地域生活に関する相談に対応できるように、市町村ごとの保健・医療・福祉関係者等による協議の場を通じて、精神科医療機関、その医療機関、地域援助事業者、当事者・ピアサポーター、家族、居住支援関係者などの重層的な連携による支援体制を構築していくことが必要。



イ 精神障害者地域移行・地域定着支援事業

精神科病院等に入院する精神障害者の地域移行・地域定着を促進させるための支援体制を整備する。

長期入院者 59 人（2022年630調査）
ケース検討者 3 人

①備北地域の地域移行支援連絡会議

内容：精神科病院への1年以上の長期入院をしている方の地域生活への移行を推進し、地域で安全・安心に暮らし続けるための支援体制整備について検討する。
全体会議（地域移行連絡会）2回、個別支援会議 5回
コアメンバー会議 3回

参加機関：さがけホスピタル、高梁市、新見市、高梁市障害者総合相談センター、新見市障害者地域活動支援センターほほえみ広場にいみ、相談支援事業所やまぶき、備北保健所・新見支所

②備北保健所管内保健従事者研修会(精神保健福祉活動)

開催回数：3回（うち1回は開催予定）

内容：講話、事例検討、座談会等

参加者：高梁市健康づくり課、福祉課、
地域包括支援センター、備北保健所等

③ピアサポート支援事業

内 容：ピアサポーターの交流、地域での活動計画協議、
住民、高・大学生への体験語り

ピアサポーター登録者：7人



地域移行支援連絡会議の様子

(2) 心の健康づくり

地域住民へ精神保健福祉の知識を普及啓発することで心の健康保持増進を図るとともに、精神障害者への偏見を解消し地域住民の理解と関心を深める。

ア ひきこもり対策事業

① 予防支援事業

- ・ ひきこもりサポーターの派遣（新見）

ひきこもりサポーターが、保健師等の助言を受けながら相談や訪問を行う。

令和5年度実績 実4人 延69人

- ・ 高梁市ひきこもり支援施策検討会への参画 5回

② 思春期相談

備北保健所6回 新見支所5回（令和5年度）

③ 「にいみのすみっこでこれからの可能性をひろげよう！」

プロジェクト（令和6年度）

- ・ ボードゲームを通じた居場所づくり



イ 自殺予防対策

- ・ ゲートキーパー養成講座の開催

高梁市地区愛育委員会及び新見市で実施

- ・ ゲートキーパー養成講座受講者への啓発グッズを高校生に作成・啓発のための事前研修会の開催 1回

ウ 依存症対策

- ・ 断酒会員による管内保健師向けの講話1回（備北）
- ・ 断酒会への参加 2回（新見）



(3) 感染症対策の推進

ア 新興感染症への備え

新興感染症が流行したときに
迅速に体制を整え患者支援が
できるように

- 新興感染症対処計画（保健所版）の策定
- 移送訓練の検討会実施
- 新型コロナウイルス感染症対策の対応を生かし、感染症の流行予測により早めに、発熱外来や入院医療機関の病床確保を行う。
（岡山県が郡市医師会と協定を締結 県内医療機関 366 床）
備北保健所管内 高梁市 2 病院 7 床
新見市 3 病院 4 床
- 新型インフルエンザ感染症については 2 病院 2 床である。
- 高齢者施設でのクラスターを防ぐため、高齢者施設等への感染症研修会を行っている。

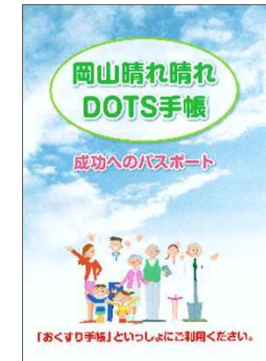
【令和 6 年度実施状況】

備北保健所	1 カ所（予定）
新見支所	1 カ所（予定）



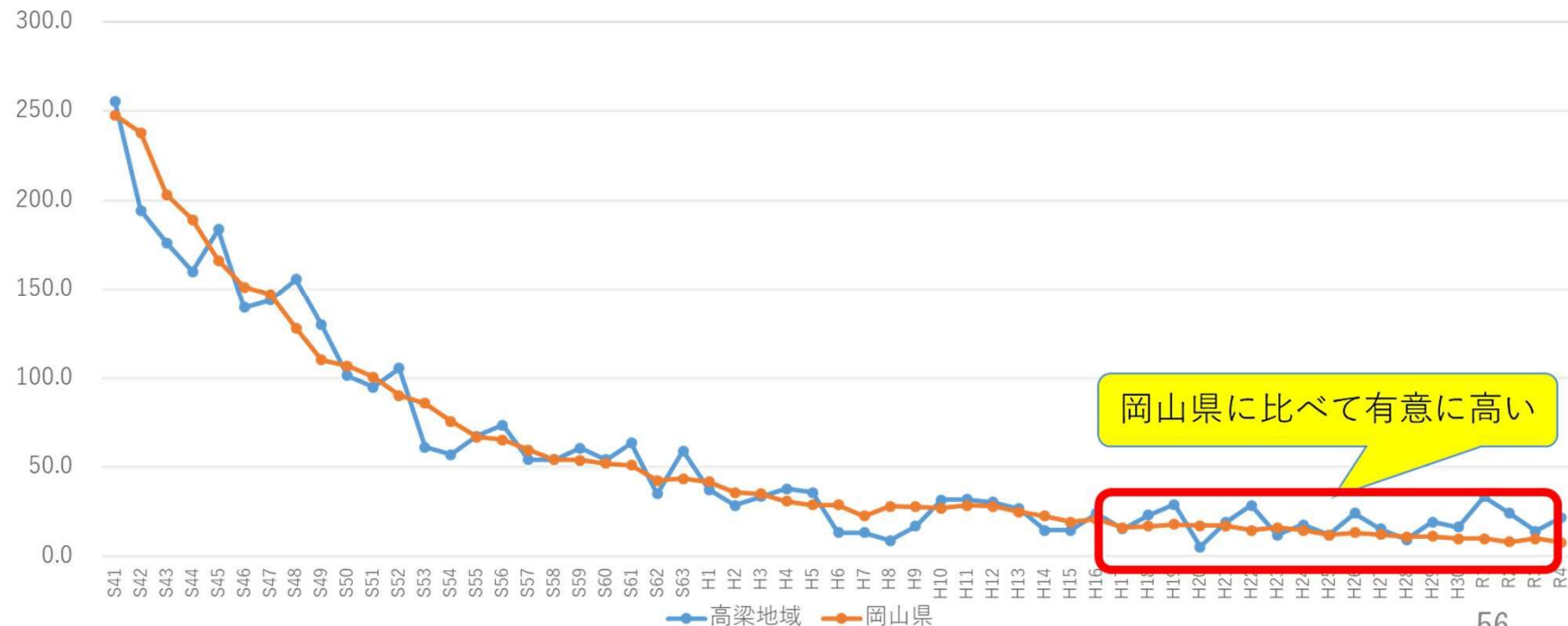
イ 結核対策（令和5年）

- ・人口10万対の結核罹患率は全国は8.1（前年8.2）、岡山県は7.4（前年7.9）、備北保健所は11.3（前年18.4）となっている。
- ・6名（本所2名、新見支所4名）の新規登録患者が発生。
- ・岡山晴れ晴れDOTS手帳の活用。保健所では、結核患者が最後まで正しく服薬できるよう、医療機関、薬局等が連携し結核患者を支援している。



人口10万対

結核罹患率の推移（高梁地域）



ウ 性感染症対策

令和6年9月末現在（ ）は令和5年度実績

	備北保健所	新見支所
エイズ等出前講座	4校実施予定（4校 168人）	2校実施予定（4校 359人）
世界エイズデーキャンペーン	11月末3回予定（11月28日実施）	予定なし（実績なし）
電話・来所相談	8件（11件）	6件（8件）
HIV検査	1件（7件）	2件（5件）
性感染症検査	1件（7件）	2件（11件）
肝炎ウイルス検査	1件（7件）	1件（2件）

エ 感染症発生状況

令和5年度

感染症分類	備北保健所	新見支所
二類	新型コロナ 51件	新型コロナ16件
三類	0件	0件
四類	レジオネラ 2件	1件
五類	梅毒 1件	0件

但し新型コロナウイルス感染症は令和5年5月7日までの届け出分を計上

(4) 難病対策の推進

ア 難病患者の療養支援

①特定医療費及び特定疾患治療研究事業

難病のうち、341の特定疾患、788の小児慢性特定疾病に対して医療費の公費負担制度があり、医療費等の自己負担の軽減を行っている。特定疾患治療研究事業としては4疾患（特定疾患）を助成対象としている。

令和6年3月31日時点

	備北保健所	新見支所
特定医療費（指定難病）受給者数	296人	263人
特定疾患治療研究事業受給者数	1人	1人

②医療福祉相談会（備北保健所）

療養生活上の不安が緩和され、療養生活の質が向上されるよう専門医等により個別相談を開催している。

開催日	令和5年10月17日	令和6年10月15日実施予定
参加者	10人	未定
内容	医師、理学療法士、社会福祉士等による相談を実施。	
成果	・サービスの利用回数の調整を行い家族の介護負担が軽減した ・疾患の進行に伴って出現する症状について知ること、主治医に相談するタイミングが分かり、薬の調整の相談がしやすくなった。	

③難病患者・家族の集い（備北保健所、新見支所）

在宅難病患者・家族のQOL向上及び交流を目的に患者・家族・管内関係者等による集いを開催している。

○備北保健所

○新見支所 令和6年11月に開催予定

開催日	令和6年11月27日実施予定
参加者	患者・家族
内容	講演会・座談会

イ 災害時（要配慮者）の支援

令和5年度実績

	備北保健所	新見支所
面接	609件	68件
家庭訪問	18件	39件
個別支援計画	16件	10件
連絡会議	1回	1回

ニーズ・必要性の
把握

本人・家族の状況
把握・支援の検討

リスト・支援計画
の作成

情報共有

- ・各市では、要支援者に対し個別避難計画を策定している。
- ・保健所では、災害時における難病患者等行動支援マニュアルに基づき医療機器を利用している重度の難病患者を中心に支援リストの作成や支援計画の作成を関係者で行っている。

3 子ども・子育て支援の充実強化 (切れ目のない母子保健の推進)

切れ目のない母子保健の推進

若い世代への正しい知識の普及啓発



未来のパパ&ママ講座

- ・母子保健評価事業
- ・産科・小児科・精神科との連携
- ・岡山県産後ケア実態調査
- ・産後ケア地域連絡会議の開催

関係機関・団体相互の連携強化

子どもの健全な発育発達のための
体制づくり

子どものすこやか
発達支援事業
(専門相談)の実施

子ども・子育て支援
・体制整備



自立支援協議会
就学への支援

医療的ケア児への支援



子ども家庭センターの運営・設置支援

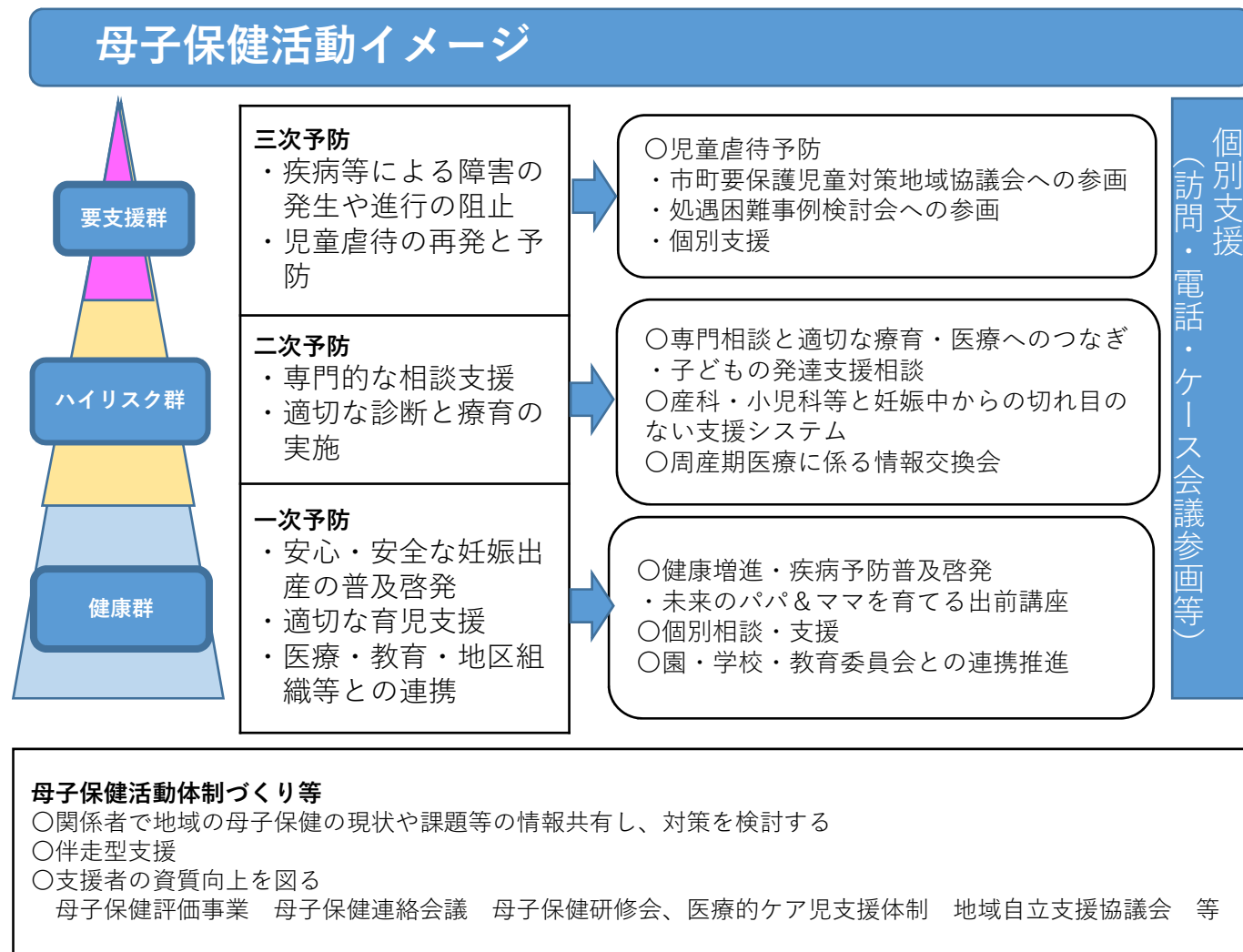


児童虐待防止

要保護児童地域対策協議会代表者・実務者・ケース会議への参画
ハイリスク母子の把握と関係課（保健と福祉・医療）の連携支援

困難を抱えた子どもや家庭への支援

（１）切れ目のない母子保健の推進



ア 未来のパパ&ママを育てる出前講座

- ・中高生を対象に、妊孕性をはじめ、妊娠・出産に関する正しい知識を普及する。

■ 令和5年度 実施校・人数

備北保健所	新見支所
1校実施 (34人)	3校実施 (228人)



イ 母子保健評価事業等

県内市町村データを用いて各市の母子保健の取組状況を評価。妊娠期から出産後もすべての子どもがすこやかに育つため母子保健の取組を検討した。

母子保健連絡会議 備北保健所5回 新見支所2回（令和5年度実績）

ウ 岡山県産後ケア実態調査

目的 県内産婦が必要とするサービスが受けられるために必要な実態把握と分析

調査対象 27市町村

0～3歳の子どもの居る家庭2000世帯（各市町村最低30世帯は確保）

県内産科医療機関・助産所（73機関）

調査期間 令和6年8月1日～9月30日

エ 岡山県産後ケア事業地域連携会議（案）

- 目的 （産後ケア事業等） 高梁新見医療圏域の周産期からの切れ目のない支援について
現状と課題を共有し解題解決を図るための取組につなげる
- 実施主体 県内保健所支所 備北保健所新見支所合同で開催予定
- 参加機関 高梁市・新見市・管内産科医療機関・管外産科医療機関・助産所
（産後ケアを契約しているところ） その他産後ケアに関わる関係者
- 主な内容 妊娠出産の現状、産後ケア実態調査の結果分析から見えたこと
昨年度実施した周産期医療情報交換会で共有・協議した好事例、
課題について協議



令和5年度高梁新見医療圏域周産期医療に係る情報交換会から

- ・ 医療的・社会的ハイリスク妊婦を早めに周産期母子医療センターや地域の資源につないで 継続支援しよう。
- ・ 外国人妊婦さんのサポート体制として広域で通訳できる仕組みを。
- ・ 産後ケア事業の利用者が増えるとよいな。
- ・ 思春期～妊娠～子育てまでイメージがつながるよう妊婦や家族教育が必要。
- ・ 妊婦の救急搬送のシステムとして、高梁市ママ・サポート119は有用。
- ・ 限られた資源の中で各機関が工夫し連携して1人1人を大切に支援している。

(2) 子どもの健全な発育発達のための体制づくり

子どもの心と体の健やかな発達支援や児童虐待の発生予防など市の母子保健事業への支援や支援体制づくりを推進した。

子どもの発達支援相談（子どもの心とからだの総合相談）

発達の遅れや障害の疑い等がある児を対象に、小児科医、臨床心理士、保健師等による相談・指導を行うことにより、子どもの適切な発育を促すとともに育児の負担等により生じる児童虐待を未然に防ぐ。

■ 令和5年度 相談件数

	備北保健所	新見支所
開催回数	11	6
相談者数（実）	29(29)	16（16）

■ 令和5年度 主な相談内容

- ・ 言葉の遅れ
- ・ 落ち着きがない
- ・ こだわりがある
- ・ 切りかえが苦手
- ・ 就学に向けた準備 など

備北保健所・
新見支所



市、医療、療育機関、保育・教育機関等が連携した支援



(3) 困難を抱えた子どもや家庭への支援

ア 児童虐待防止 地域支援システム構築に向けた連携会議への参画

- ① 市・児童相談所・所属機関と連携した家庭訪問・相談支援
- ② 市要保護児童対策地域協議会 代表者会議への参画
実務者会議への参画
ケース会議への参画
備中県民局管内要保護児童対策地域協議会連絡会議及び
岡山県子ども虐待防止専門本部備中地域支部全体会議への参画
- ③ 市町村要保護児童対策地域協議会支援事業への参画
令和5年度：高梁市 事例検討4回、専門研修1回

イ 医療的ケア児・小児慢性特定疾病・低出生体重児への支援

- ①医療的ケア児 高梁市2人 新見市4人（令和5年度末現在）
（胃ろうや経管栄養などの医療的ケアが日常的に必要な児）
- ②小児慢性特定疾病申請者数 本所9人 支所18人（令和5年度末現在）
（内分泌疾患9人 悪性新生物5人 神経・筋疾患5人等）
- ③低出生体重児（2,500g未満で出生）出生数（令和4年）26人

福祉型児童発達支援センター、児童発達支援事業所、訪問看護ステーション、主治医、市内医療機関等と連携しながら、必要な医療やリハビリを受けられるよう支援したり、こども園等と連携し子どもの健やかな成長発達と保護者の支援を行っている。



4 生活衛生及び医薬安全対策の推進等

食の安全・安心の推進



食品関係施設への監視や
収去検査の実施

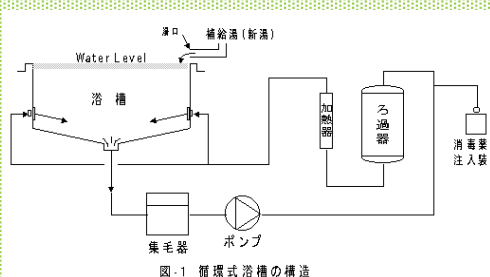


衛生教育

生活衛生対策の推進

理・美容所、クリーニング所、
公衆浴場における衛生管理

レジオネラ対策の実施



入浴施設における浴槽水の
水質検査

医薬品等の安全確保 対策の推進

薬物乱用キャンペーンの実施



(1) 食の安全・安心の推進

「岡山県食品衛生監視指導計画」に基づき、

- (1) 監視指導 (2) 試験検査 (3) HACCP (ハサップ) の推進
(4) 食の安全相談窓口への対応 (5) 衛生教育

◆令和5年度実績

(1)監視指導	施設数	監視件数
許可施設	882	486
届出施設	610	129
(2)試験検査	実施件数	内容
収去検査	194	食品添加物 残留農薬 等
(4)相談件数	264	
(5)衛生講習会	25回 (575名 受講)	



●食中毒発生状況
0件

(2) 生活衛生対策の推進

(1) 理・美容所、クリーニング所、公衆浴場等における衛生管理の徹底

(2) 入浴施設におけるレジオネラ症発生防止対策

◆令和5年度実績

監視指導	理容所	美容所	クリーニング所	旅館	公衆浴場
施設数	88	130	28	55	9
監視件数	34	44	12	26	9

レジオネラ症発生防止対策	実施件数
浴槽水の水質検査	19

日本における重要な感染源：入浴施設、循環式浴槽等

(画像：循環式浴槽におけるレジオネラ症防止対策マニュアル
厚生労働省より)

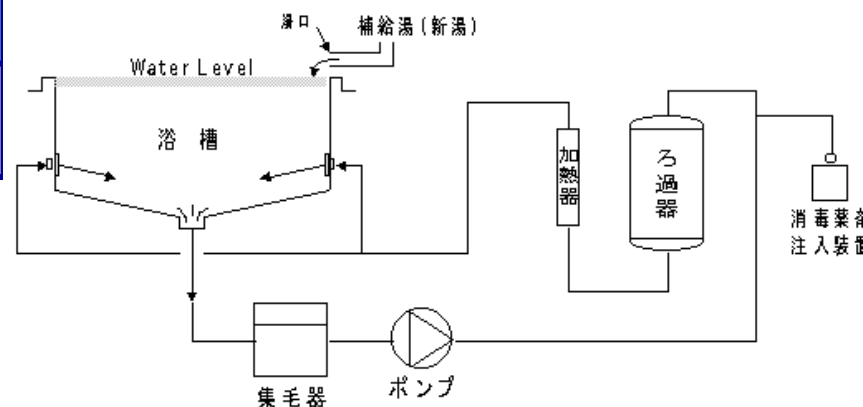


図-1 循環式浴槽の構造

(3) 医薬品等の安全確保対策の推進

(1) 薬局、毒物劇物販売業等の監視指導

(2) 薬物乱用防止対策（普及啓発）

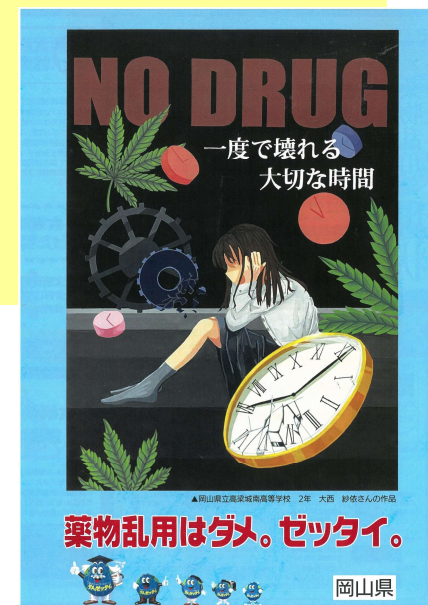
- ・ 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動キャンペーン
- ・ 薬物乱用防止教室

◆令和5年度実績

監視指導		施設数	監視件数
医薬品 関係	薬局	21	20
	店舗販売業等	18	21
毒物劇物販売業		57	45

薬物乱用防止教室

21回
(1147名受講)



薬物乱用防止キャンペーン



◆令和5年度実績

地区	配布場所	配布資料
高梁	高梁高校、高梁城南高校、方谷學舎高等学校	9 2 0
新見	岡山県共生高校、新見高校	6 8 0